

令和 8 年 度

工事番号 メンテ 第 765 号

常 盤 新 山 線 橋 梁 補 修 (朝 日 橋) 工 事

南 津 軽 郡 田 舎 館 村 大 字 川 部 地 内

実 施 設 計 縮 小 図 面

青 森 県 中 南 県 土 整 備 事 務 所

令和 8 年度 橋梁補修 工事		
工事番号	メンテ 第 765 号	
路線 河川	常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所	南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
位 置 図	縮尺	FREE
図面番号	25 葉中 1	
中南県土整備事務所		
青 森 県		

(朝日橋)

朝日橋位置図

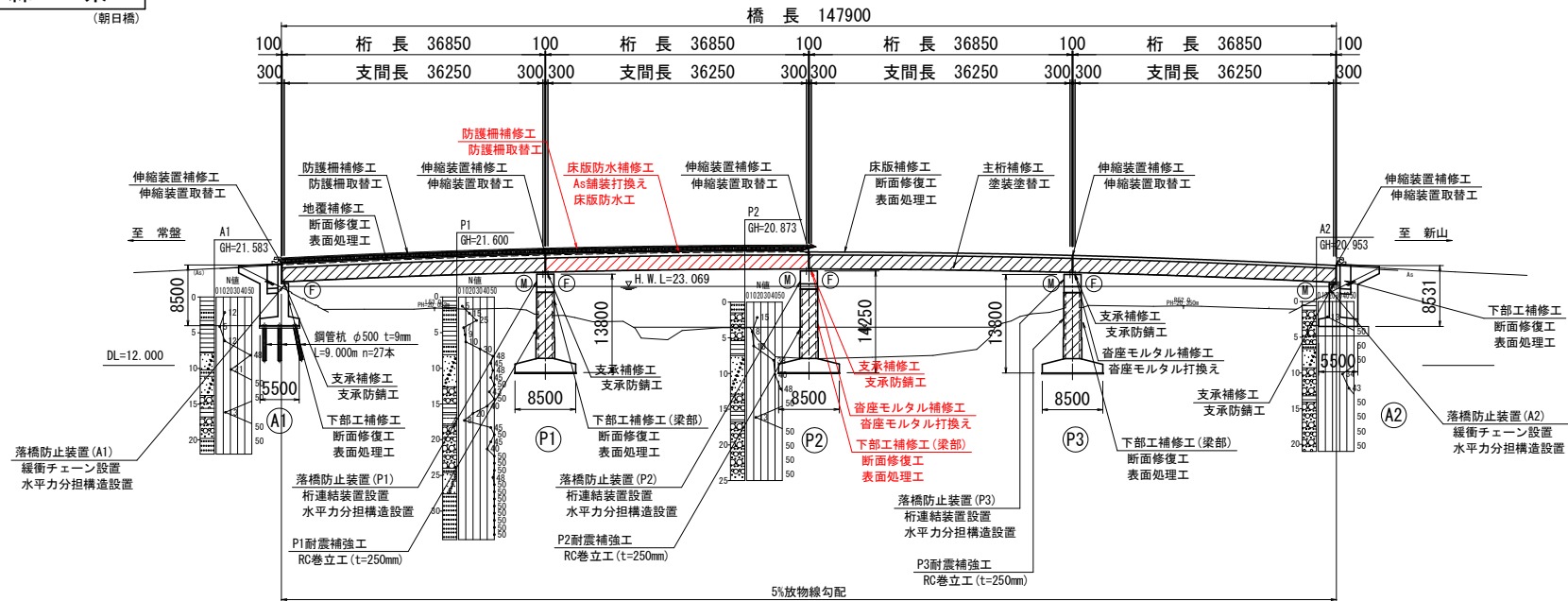


令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号	メンテ 第 765 号		
路線 名	常盤新山線(朝日橋)		
施工箇所	南津軽郡田舎館村 大字川部 地内		
朝日橋補修・補強 一般図(1/2)	縮尺	図示	
図面番号	25 葉中 2		
中南県土整備事務所			
青 森 県			

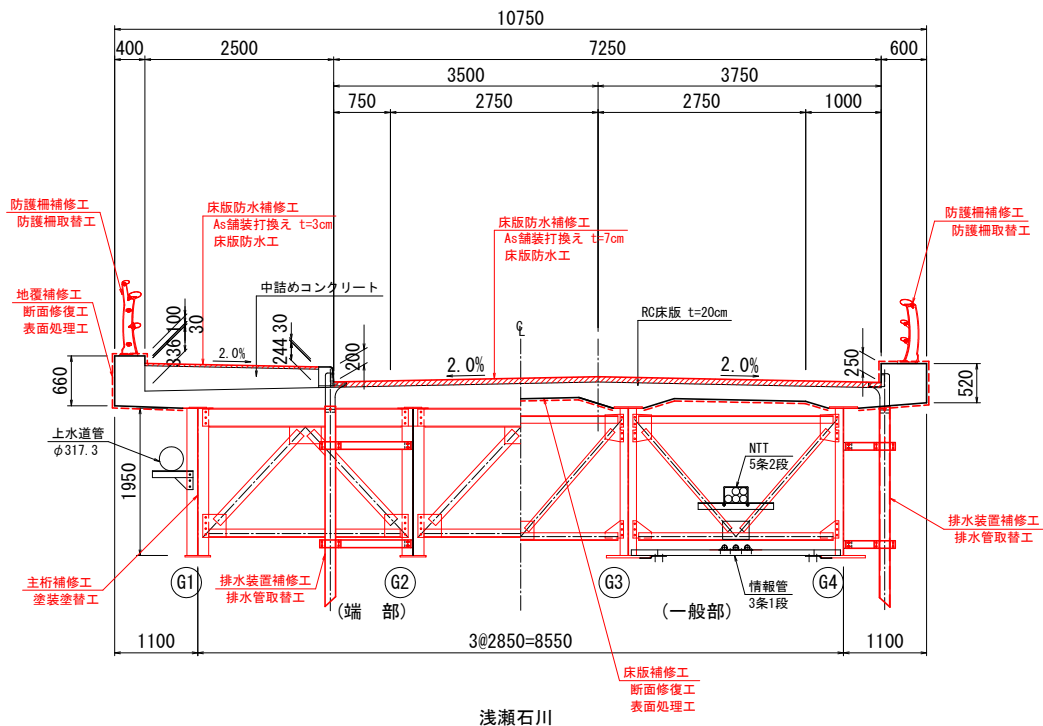
3
68

朝日橋補修・補強一般図(1/2)

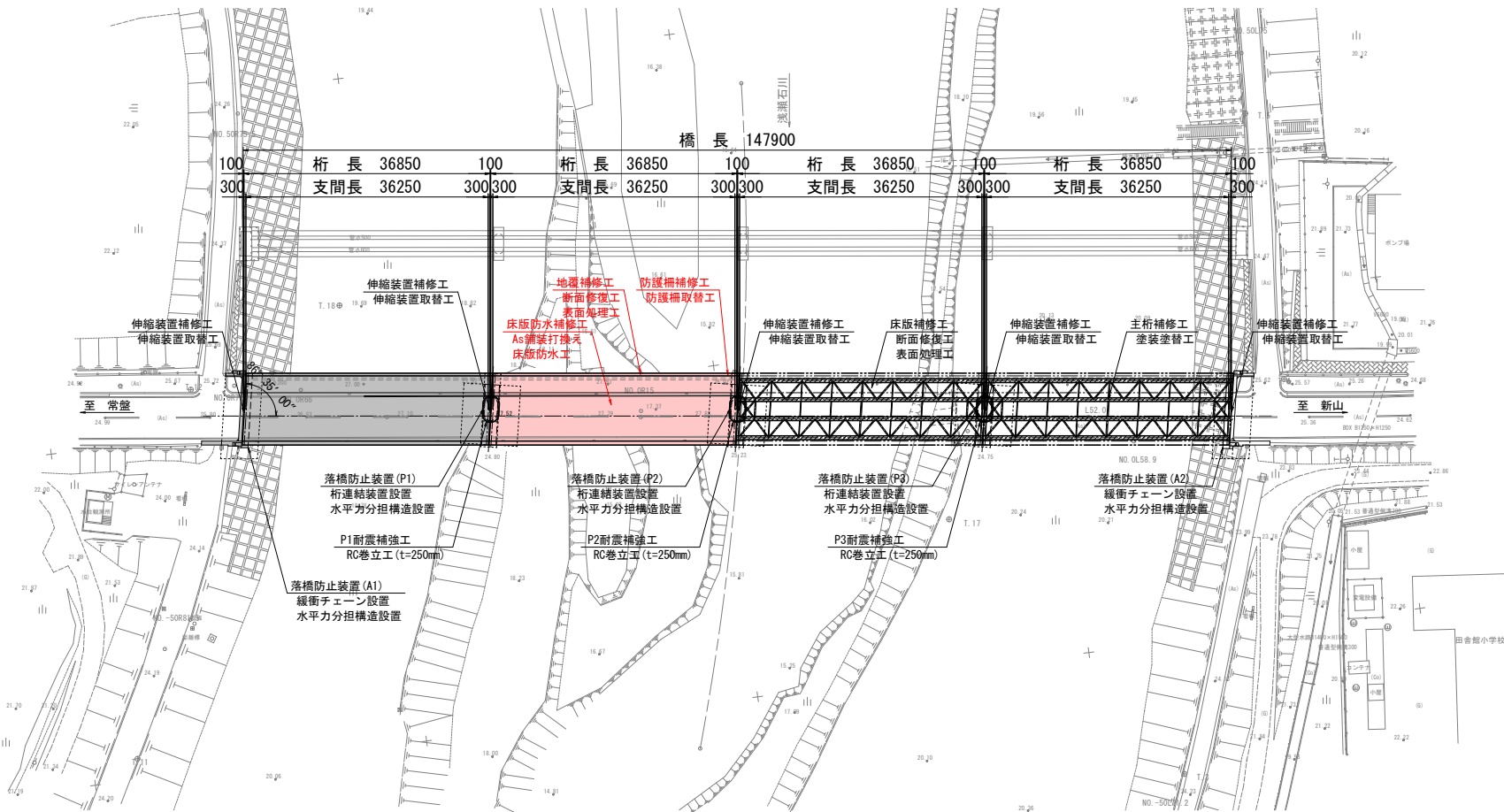
側面図 S=1:500



断面図 S=1:50



平面図 S=1:500



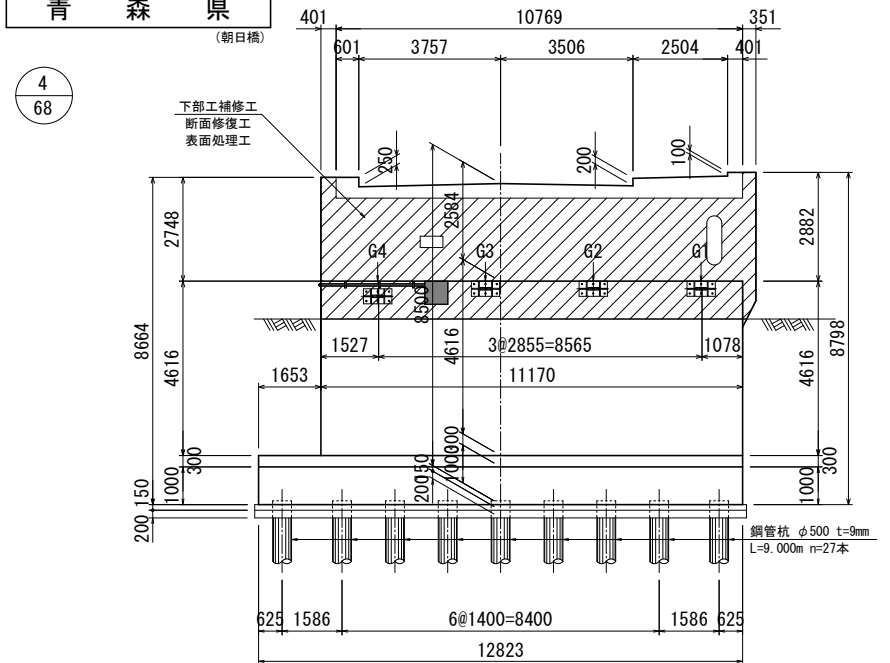
補修履歴	
2009 (H21) 年度	【舗装】床版防水工(塗膜系加熱型)
	【縁石】歩車道境界ブロック取替(B種)
	【防護柵】塗装塗替え(a-1塗装系)
	【地覆】断面修復工、表面処理工(シラン系)
	【伸縮装置】伸縮装置取替え(鋼製)
	【排水装置】排水管取替え(10/24箇所)、塗装塗替え(14/24箇所)
	【床版】断面修復工
	【主桁】塗装塗替え(c-1塗装系)※2種ケレン
	【支保】支保防錆工(金属溶射)
	【寄座モルタル】寄座モルタル打換え
	【下部工】ひびわれ注入工、表面処理工(シラン系)

朝日橋補修対策	
床版防水補修工	As舗装打換え、床版防水工
防護柵補修工	防護柵取替工(アルミ製高欄兼車両用防護柵)
地覆補修工	断面修復工、表面処理工
伸縮装置補修工	伸縮装置取替工
排水装置補修工	排水管取替工(損傷箇所のみ)
主桁補修工	塗装塗替え工(Rc-I塗装系)
床版補修工	断面修復工、表面処理工
支保補修工	支保防錆工(金属溶射)
寄座モルタル補修工	寄座モルタル打換え
下部工補修工	断面修復工、表面処理工
朝日橋補強対策	
落橋防止工	A1・A2 : 緩衝チェーン P1・P2・P3 : 桁連結装置
水平力分担構造	A1、P1、P2、P3、A2 : せん断ストッパー
橋脚補強工	P1、P2、P3 : RC巻立て t=250mm

設計条件	
橋名	朝日橋(アサヒバシ)
路線名	県道 常盤新山線
供用年月日	1979 (昭和54) 年3月 (経過年数43年経過)
設計活荷重	一等橋 (TL-20)
形式	単純鋼合成I桁橋(4連)
橋長	147.900m
支間長	4@36.250m
幅員	全幅員 10.750m(車道:7.250m、歩道:2.500m)
支保	支保板支承
雪荷重	W=1.0kN/mm ²
斜角	左 86° 35' 00"
形式	躯体 A1・A2:逆T式橋台、P1:T型橋脚(柱小判) 基礎 A1:杭基礎、A2:直接基礎、P1~P3:直接基礎
設計震度	不明
材料	コンクリート 不明
鉄筋	不明
コンクリート	不明
鉄筋	不明
支持地盤	不明
適用基準	道路橋示方書 1972(昭和47)年

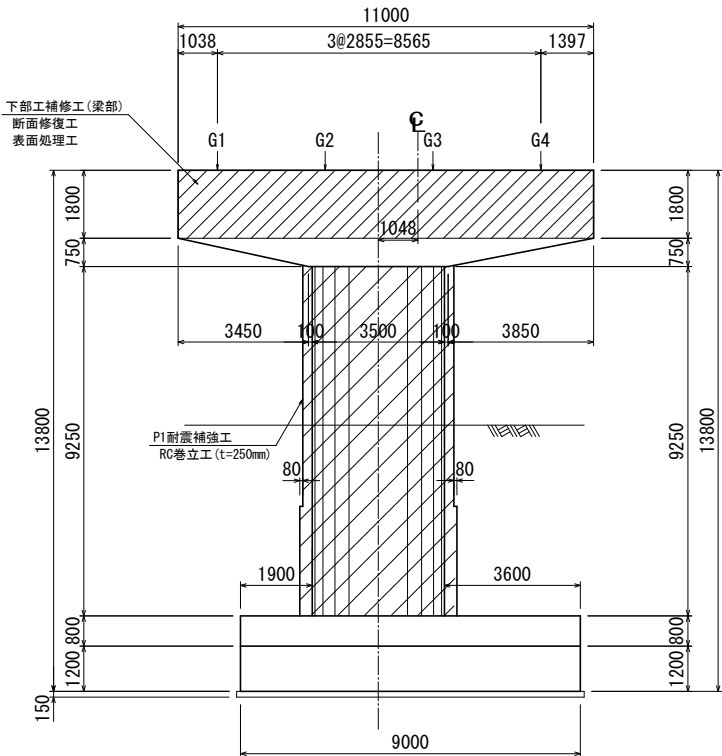
令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号	メンテ 第 765 号		
路線 名	常盤新山線(朝日橋)		
河川			
施工箇所	南津軽郡田舎館村 大字川部 地内		
朝日橋補修・補強 一般図(2/2)	縮尺	図示	
図面番号	25 葉中 3		
中南県土整備事務所			
青 森 県			

A1橋台正面図

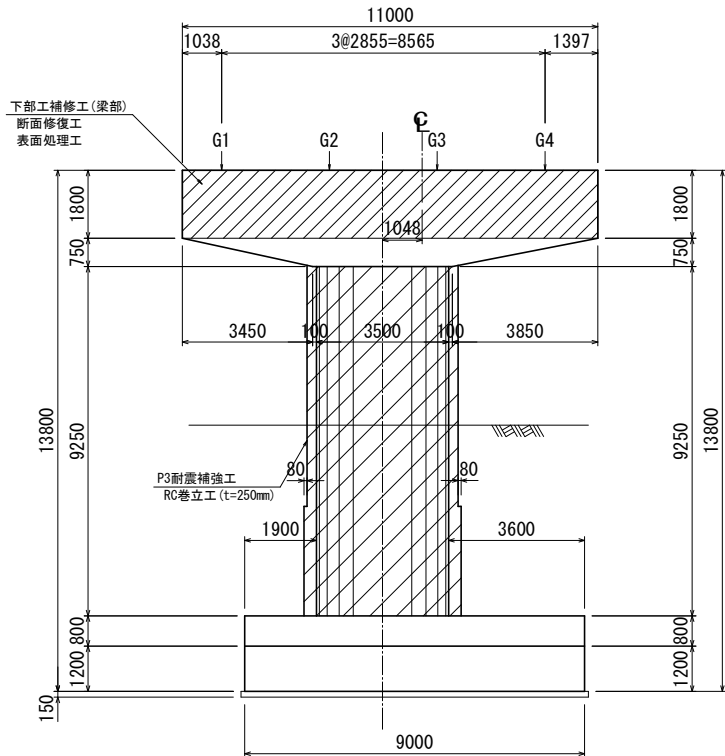


朝日橋補修・補強一般図(2/2)

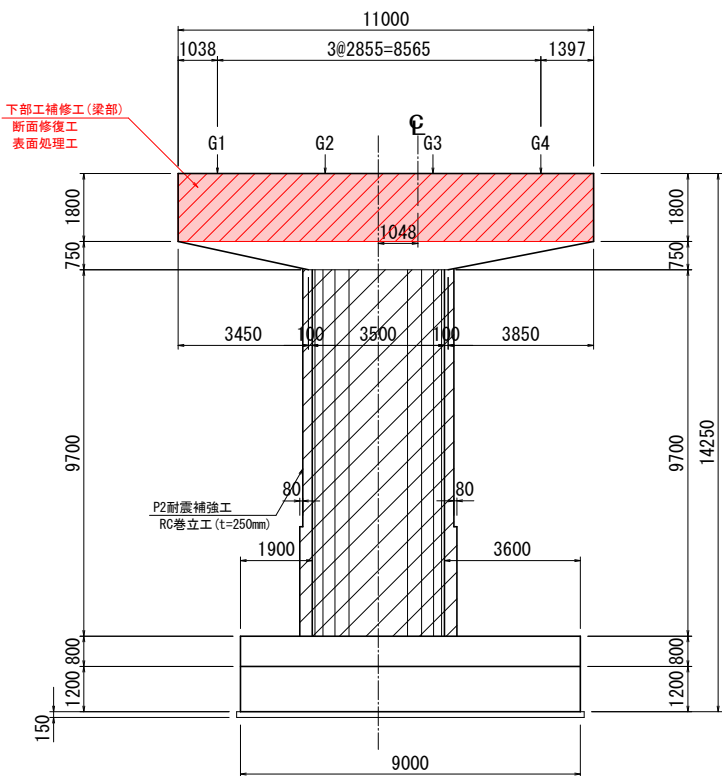
P1橋脚正面図



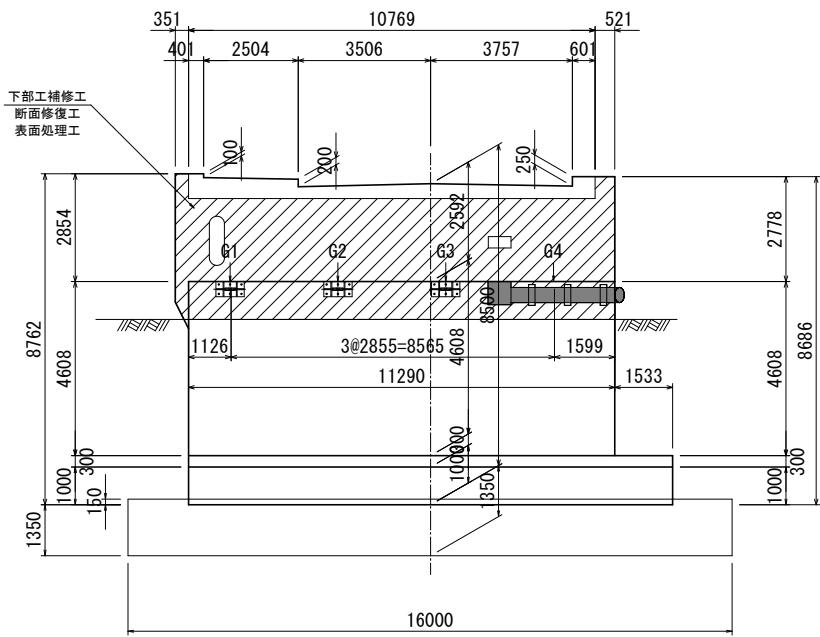
P3橋脚正面図



P2橋脚正面図



A2橋台正面図



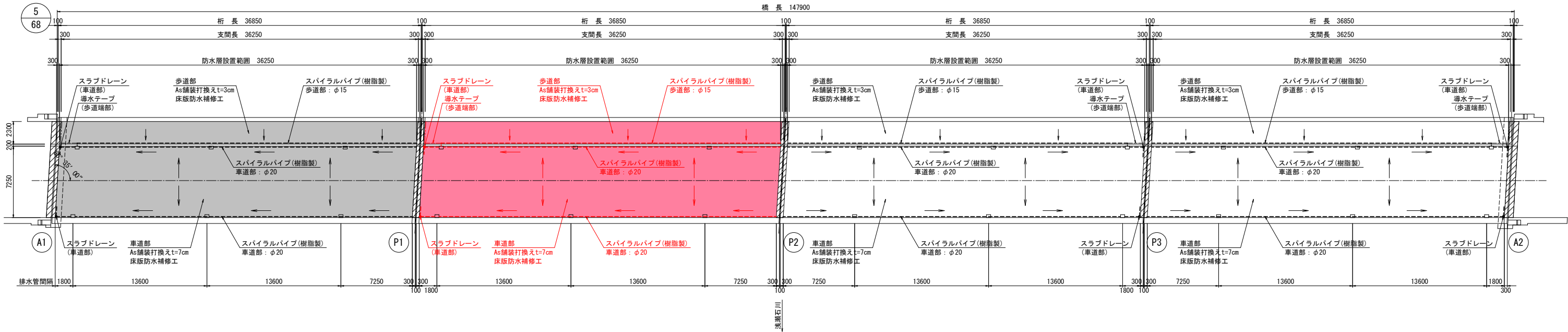
落橋防止システム	
既設支条件	支保板支保(レベル1対応)
桁 間 隔	満足:必要桁間隔0.881m≦現況桁間隔0.900m
A1橋台	必要:単純桁が連続するため 緩衝チェーン
軸方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 緩衝チェーン
直角方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 緩衝チェーン
水平力分担構造	必要:支保レベル2対応 セン断ストッパー
P1橋脚	満足:必要桁間隔0.881m≦現況桁間隔1.150m(起点側)
軸方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
直角方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
水平力分担構造	必要:支保レベル2対応 セン断ストッパー
P2橋脚	満足:必要桁間隔0.881m≦現況桁間隔1.150m(終点側)
軸方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
直角方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
水平力分担構造	必要:支保レベル2対応 セン断ストッパー
P3橋脚	満足:必要桁間隔0.881m≦現況桁間隔1.150m(終点側)
軸方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
直角方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 桁連結装置
水平力分担構造	必要:支保レベル2対応 セン断ストッパー
A2橋台	満足:必要桁間隔0.881m≦現況桁間隔0.900m
軸方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 緩衝チェーン
直角方向落橋防止	必要:単純桁が連続するため 緩衝チェーン
水平力分担構造	必要:支保レベル2対応 セン断ストッパー

耐震補強設計条件	
耐震性能	耐震性能2
橋の重要区分	B種の橋
耐震性能照査における橋の境界状態の考え方	橋脚基部に生じる損傷の修復を容易に行える程度で抑える。
地域別補正係数	B2地域 東津軽郡(Cz:0.85, Clz:1.0 Cliz:0.85)
地盤種別	II種地盤
主要固有周期 T(s)	橋軸方向 0.391 橋軸直角方向 0.253
レベル2	P1 0.391 0.253 P2 0.412 0.267 P3 0.391 0.253
設計水平震度 kh	橋軸方向 0.391 橋軸直角方向 0.253
設計水平震度 khc	タイプI 橋軸方向 0.391 橋軸直角方向 0.253 タイプII 橋軸方向 0.391 橋軸直角方向 0.253
レベル2	A1 0.58 0.58 0.66 0.66 P1 0.63 0.56 0.73 0.64 P2 0.64 0.56 0.74 0.65 P3 0.63 0.56 0.73 0.64 A2 0.58 0.58 0.66 0.66
下部工耐震補強	RC巻立て工法(t=250mm)
施工条件	軸方向鉄筋 P1:D51φ150(正面:1本おき定着、側面:全定着) P2:D51φ150(正面:1本おき定着、側面:全定着) P3:D51φ150(正面:1本おき定着、側面:全定着)
帯鉄筋	P1:D22φ150 P2:D22φ150 P3:D22φ150
検査方法	橋梁点検車
検査路	上部工、下部工の検査路無し
維持管理条件	柱基部から下記の高さが塑性ヒンジ長(Lp)である。 P1:橋軸方向:1044mm 橋軸直角方向:1664mm P2:橋軸方向:1044mm 橋軸直角方向:1664mm P3:橋軸方向:1044mm 橋軸直角方向:1664mm 塑性化領域はLpである。 地震時点検では特に注意し損傷の有無を確認する事。
適用基準等	・道路橋示方書・同解説I~V(H24.3) ・既設橋の耐震補強設計に関する技術資料(H24.11) ・道路橋示方書・同解説V ・耐震設計編に関する参考資料(H27.3)

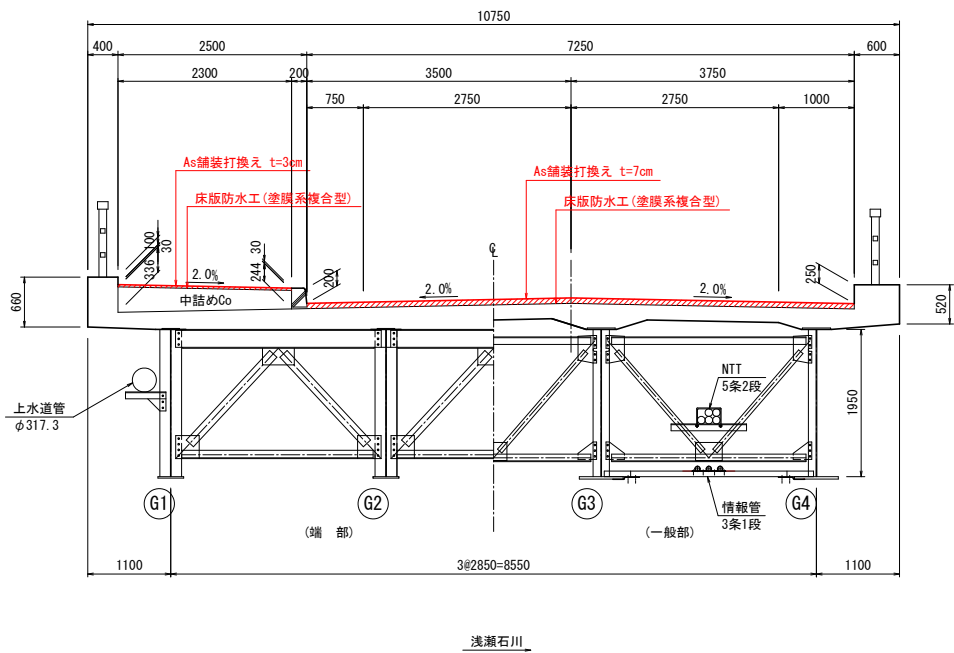
令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名 河川		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
床版防水補修工図 (1/2)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 4	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

床版防水補修工図(1/2)

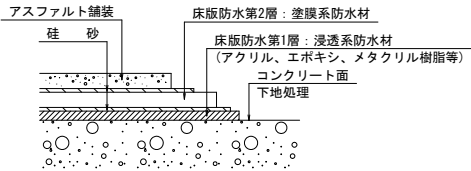
平 面 図 S=1:200 ※流水方向凡例 —→



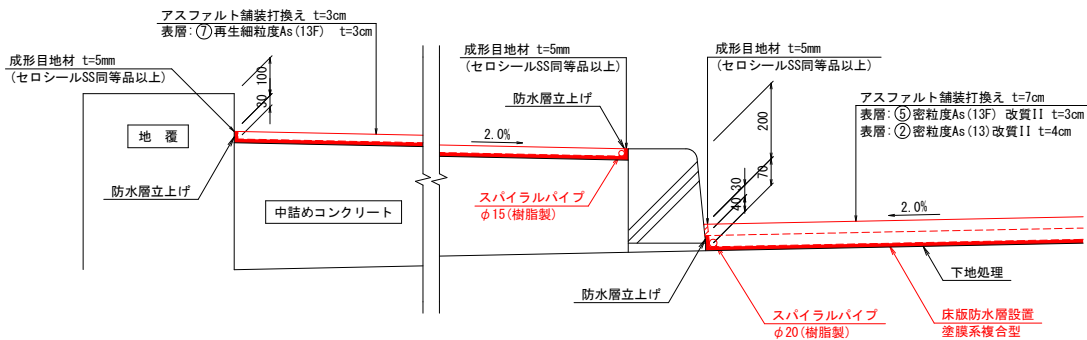
断 面 図 S=1:50



床版防水層工詳細図
(塗膜系複合型)



床版防水端部詳細図 S=1:10



特記事項

- 図中、詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
- 舗装切削時に切削機を使用する場合は、床版を削らないよう留意すること。
(As舗装を10mm程度残し、残りは人力で実施する等)
- 現況舗装切削後、床版上面に劣化部が確認される場合には補修を行うこと。
- 流水方向については、路面切削後、高さの現地計測を行い 再確認を行うこと。
- 排水処理は既設排水樹に接続して行うこと。
- 追加補修箇所がある場合は、監督職員と協議し補修の有無を確認すること。
- スラブドレーン設置位置は、鉄筋探査のうえ決定すること。
- 既設舗装版切削後の回転ビット跡の凹凸は下地処理(不陸整正)を行い平滑を確保すること。
- 使用する浸透系防水材によっては、第1層後の珪砂の散布を不要とする場合があることに留意すること。

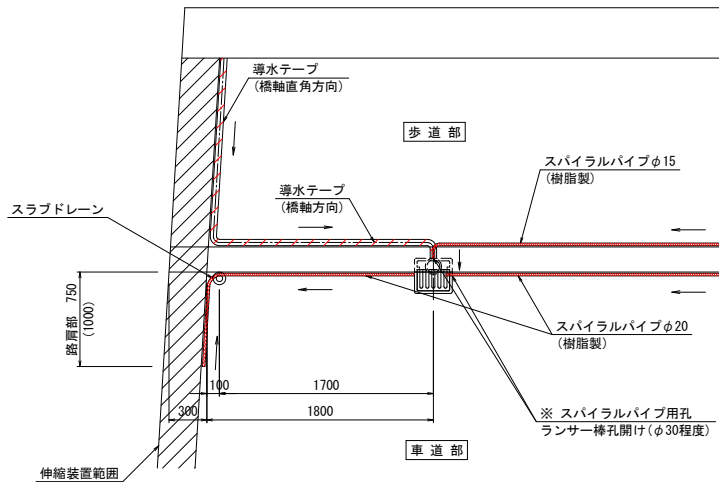
令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
床版防水補修工図 (2/2)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 5	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

6
68

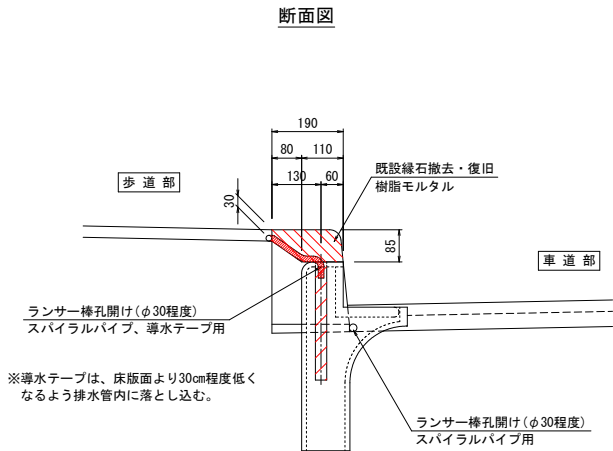
床版防水補修工図(2/2)

排水施設接続処理詳細図 S=1:30

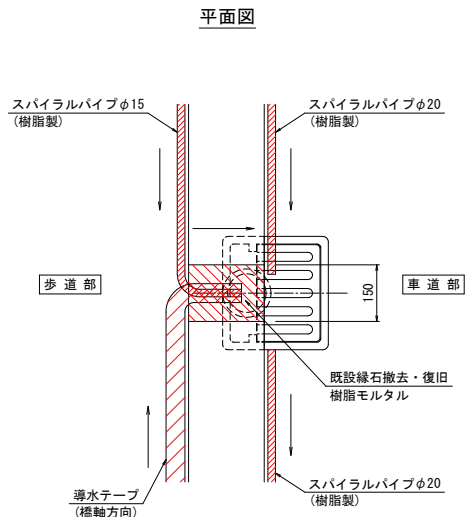
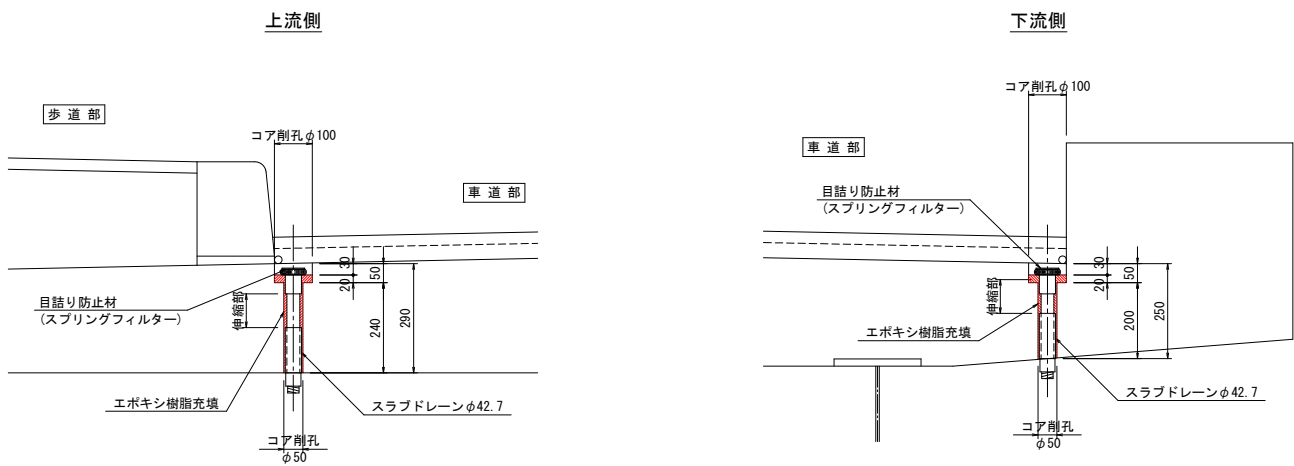
※導水テープは、床版面より30cm程度低くなるよう排水管内に落とし込む。



歩道部排水流末接続図 S=1:10



スラブドレーン設置詳細図 S=1:10

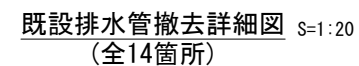


特記事項

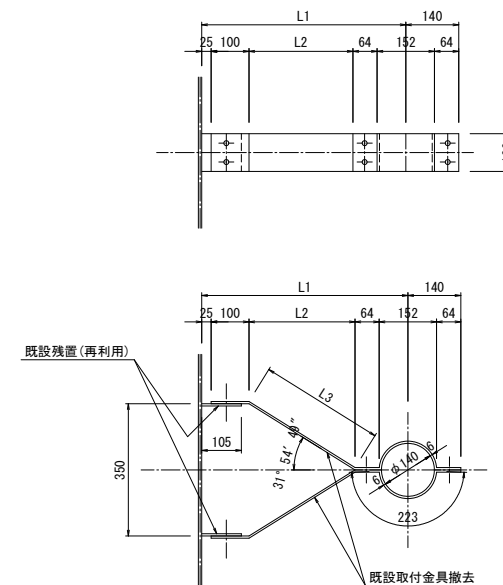
- 図中、詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
- 舗装切削時に切削機を使用する場合は、床版を削らないよう留意すること。
(As舗装を10mm程度残し、残りは人力で実施する等)
- 現況舗装切削後、床版上面に劣化部が確認される場合には補修を行うこと。
- 流水方向については、路面切削後、高さの現地計測を行い 再確認を行うこと。
- 排水処理は既設排水樹に接続して行うこと。
- 追加補修箇所がある場合は、監督職員と協議し補修の有無を確認すること。
- スラブドレーン設置位置は、鉄筋探査のうえ決定すること。
- 既設舗装版切削後の回転ピット跡の凹凸は下地処理(不陸整正)を行い平滑を確保すること。
- 使用する浸透系防水材料によっては、第1層後の珪砂の散布を不要とする場合があることに留意すること。

(朝日橋)

平面图 S=1:200



既設取付金具



	G2桁側	G4桁側
SPAN 1	1 箇所	2 箇所
SPAN 2	3 箇所	3 箇所
SPAN 3	1 箇所	1 箇所
SPAN 4	2 箇所	1 箇所
合 計	7 箇所	7 箇所

	L1	L2	L3
G2桁側	1096	831	979
G4桁側	546	281	331

特記事項

1. 図中、詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 特記無き鋼材材質はSS400とする。
3. 鋼材は溶融亜鉛メッキ処理とする。

排水管 1箇所当り
1-φ 139.8×4.5×2350 (SGP)

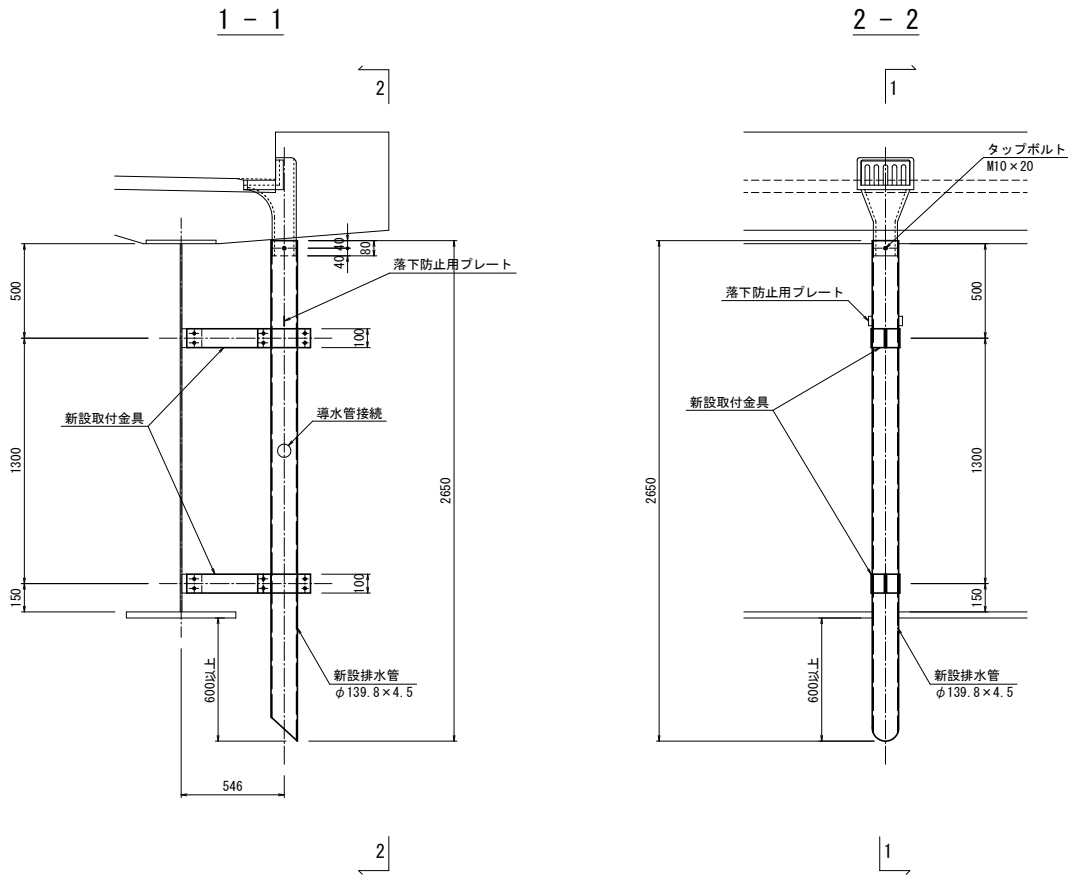
取付金具 1箇所当り
 〈G2桁側〉
 2-PL 100×6×1430
 〈G4桁側〉
 2-PL 100×6×782

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
排水装置補修工図 (2/3)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 7	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

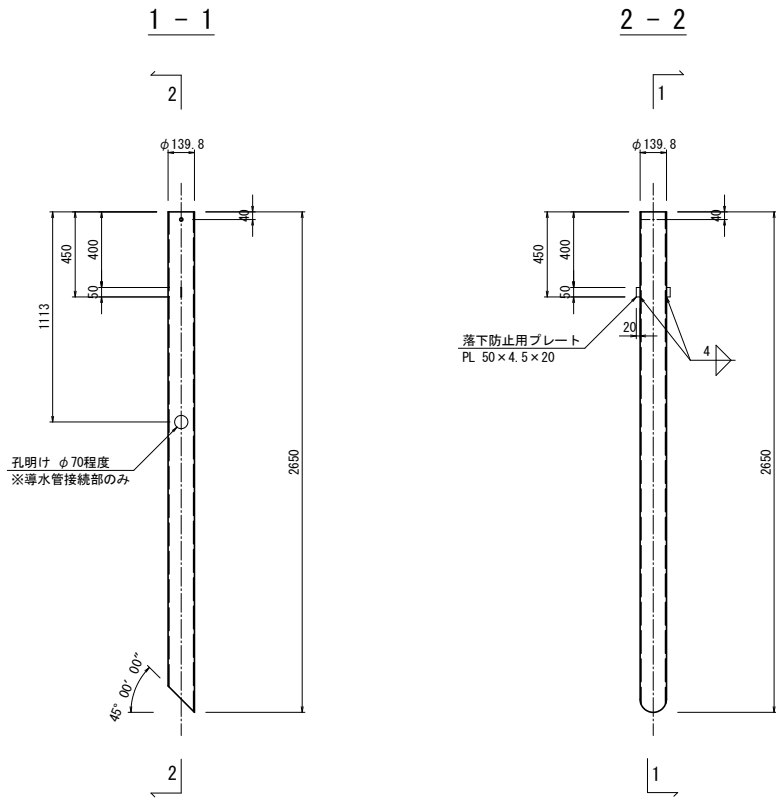
8
68

排水装置補修工図(2/3)

排水管設置詳細図 S=1:30



排水管詳細図 S=1:20

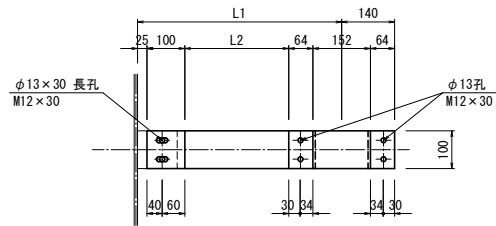


新設数量表

	一般部	導水管接続部 (孔明け有)
SPAN 1	1 箇所	2 箇所
SPAN 2	4 箇所	2 箇所
SPAN 3	- 箇所	2 箇所
SPAN 4	1 箇所	2 箇所
合 計	6 箇所	8 箇所

排水管 1箇所当り
1-Pipe φ139.8×4.5×2650 (STK400) <HDZT63>
2-PL 50×4.5×20 <HDZT63>
4-TB M10×20 (SUS)

取付金具詳細図 S=1:10



新設数量表

	G2桁側	G4桁側
SPAN 1	1 箇所	2 箇所
SPAN 2	3 箇所	3 箇所
SPAN 3	1 箇所	1 箇所
SPAN 4	2 箇所	1 箇所
合 計	7 箇所	7 箇所

寸法表

単位 : mm

	L1	L2	L3
G2桁側	1096	831	979
G4桁側	546	281	331

取付金具 1箇所当り

<G2桁側>
2-PL 100×6×1430 (HDZT77)
8-B.N.W. M12×30 (SUS)

<G4桁側>
2-PL 100×6×782 (HDZT77)
8-B.N.W. M12×30 (SUS)

特記事項

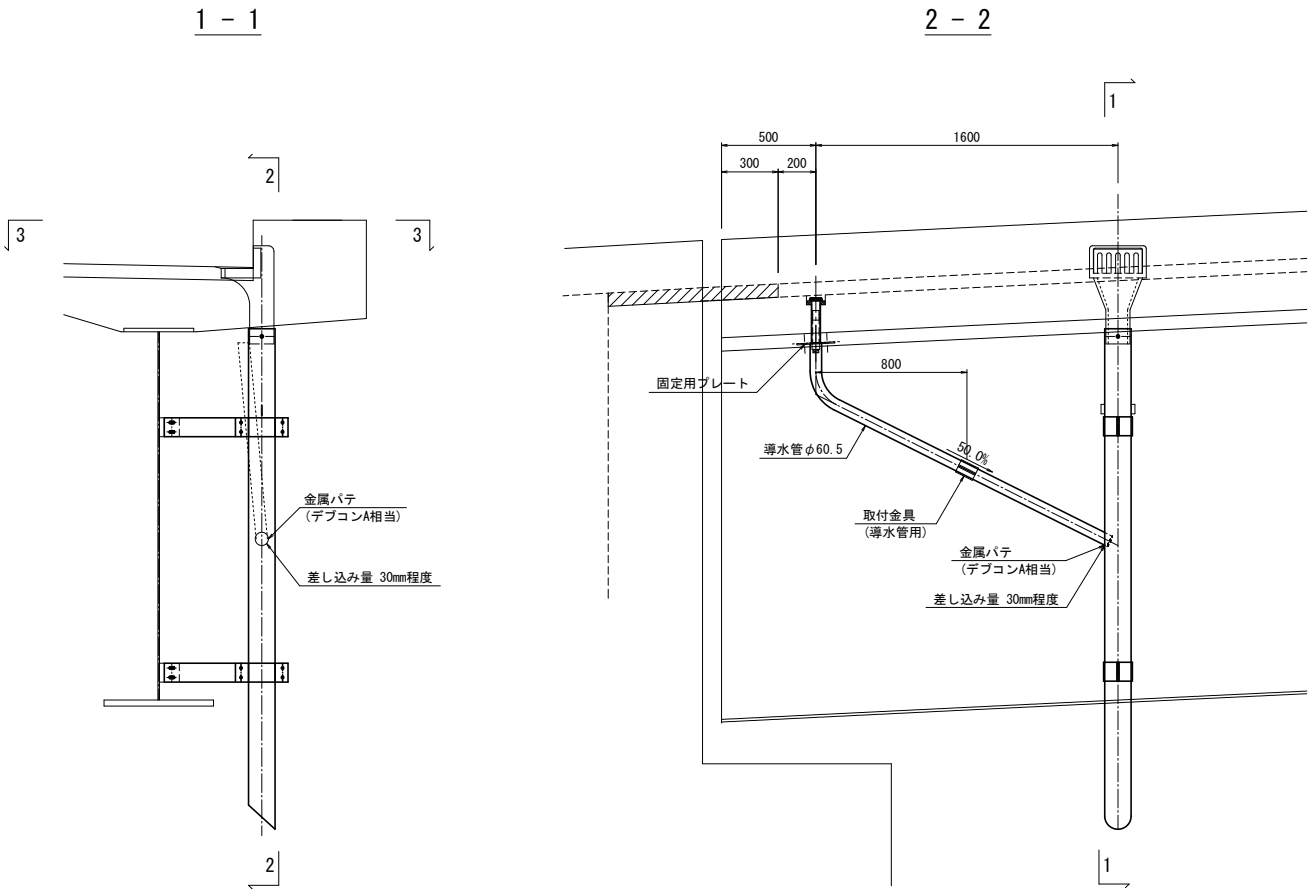
1. 図中、詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 特記無き鋼材材質はSS400とする。
3. 鋼材は溶融亜鉛メッキ処理とする。

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
排水装置補修工図 (3/3)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 8	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

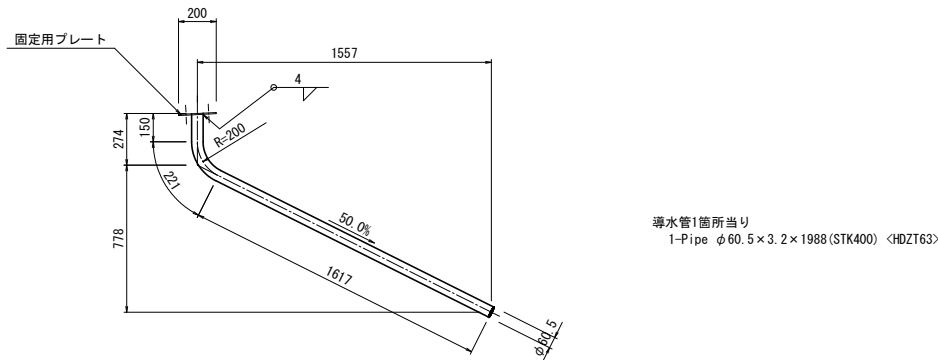
9
68

排水装置補修工図 (3/3)

導水管設置詳細図 S=1:30

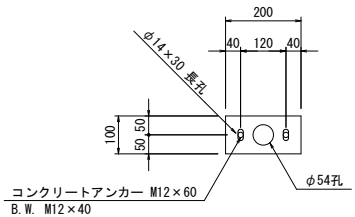


導水管詳細図 S=1:20

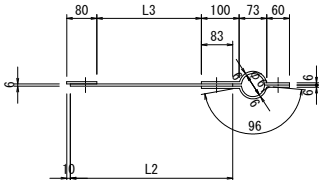


導水管1箇所当り
1-Pipe φ60.5×3.2×1988(STK400) <HDZT63>

固定用プレート
(導水管用)



取付金具詳細図 S=1:10
(導水管用)



数量表

	G2桁側	G4桁側
SPAN 1	1 箇所	1 箇所
SPAN 2	1 箇所	1 箇所
SPAN 3	1 箇所	1 箇所
SPAN 4	1 箇所	1 箇所
合 計	4 箇所	4 箇所

寸法表

	L1	L2	L3
G2桁側	1041	980	824
G4桁側	495	430	277

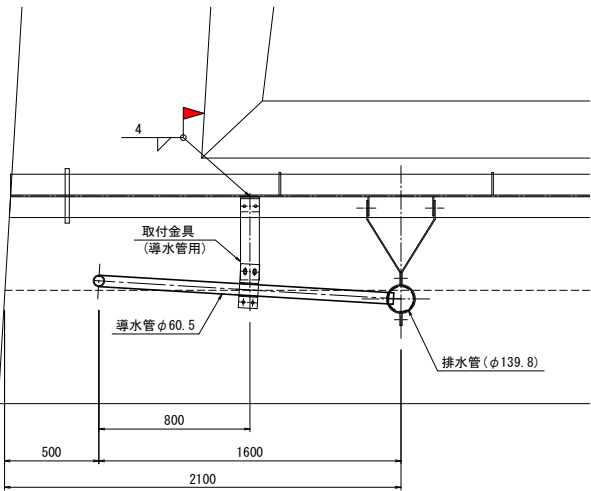
単位: mm

取付金具 1箇所当り

<G2桁側>
2-PL 100×6×256 <HDZT77>
1-PL 100×6×980 <HDZT77>
1-PL 100×6× 80 <SM400> <塗装>
2-B. N. W. M12×40 <SUS>
4-B. N. W. M12×30 <SUS>

<G4桁側>
2-PL 100×6×256 <HDZT77>
1-PL 100×6×430 <HDZT77>
1-PL 100×6× 80 <SM400> <塗装>
2-B. N. W. M12×40 <SUS>
4-B. N. W. M12×30 <SUS>

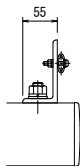
3 - 3





(12M当たり)								
部番	名 称	寸 度	数 量	単 重	1本当り	総重量	材 質	備 考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	トップレール	3990.0	3	2.179	8.69	26.1	A6061S-T6	100x50x3
4	支柱		6		11.82	70.9	AC7A相当	
5	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
6	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
7	トップレールスリーブ	120.0	3	2.093	0.25	0.8	A6061S-T6	
8	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
9	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
10	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
11	バラストー	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
12	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
13	板ナット	120.0	6	0.986	0.12	0.7	A6061S-T6	
14	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
15	〃	M12x30	24		0.05	1.2	A2-70 SUS	W1, SW1
16	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
17	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
18	〃	M12x22	6		0.05	0.3	A2-70 SUS	W1, SW1
19	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1, W2, SW1
20	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1, SW1
21	なべタッピンネジ (2種)	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
22	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
23	全ネジアンカーボルト	M20x330	12		0.87	10.4	SCM435	N1, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ1
24	〃	M20x270	12		0.75	9.0	SS400	N1, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ1
25	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12	-	-	-		
26	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12	-	-	-		
					総重量	275.7 Kg/12M		
					M当り	23.0 Kg/M (端部は除く)		

1. 表面仕様
主要橋梁、下段橋梁、主要スリープ、下段スリープ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理。ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレーの色を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護欄の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」（平成30年6月）、
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護欄の支柱は、レール用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。
4. ボルト・ビス類のSUS材は、塩害対策処理とする。
5. 絶縁ブッシュの色調は黒色とする。
コンクリート強度 $\sigma_{ck} \geq 21 \text{N/mm}^2$ 以上





車両用防護柵取付詳細図 S=1/6

車道側

主要横梁
構内 170x85x3.5
A6061S-T6

M16x50 (六角)
A2-50 SUS
N1, W1, SW1

下段横梁
構内 100x50x3
A6061S-T6

甲丸ボルト
M12x30
A2-50 SUS
W1, SW1

支柱
AC7A相当

板ナット
A6061S-T6 L=120

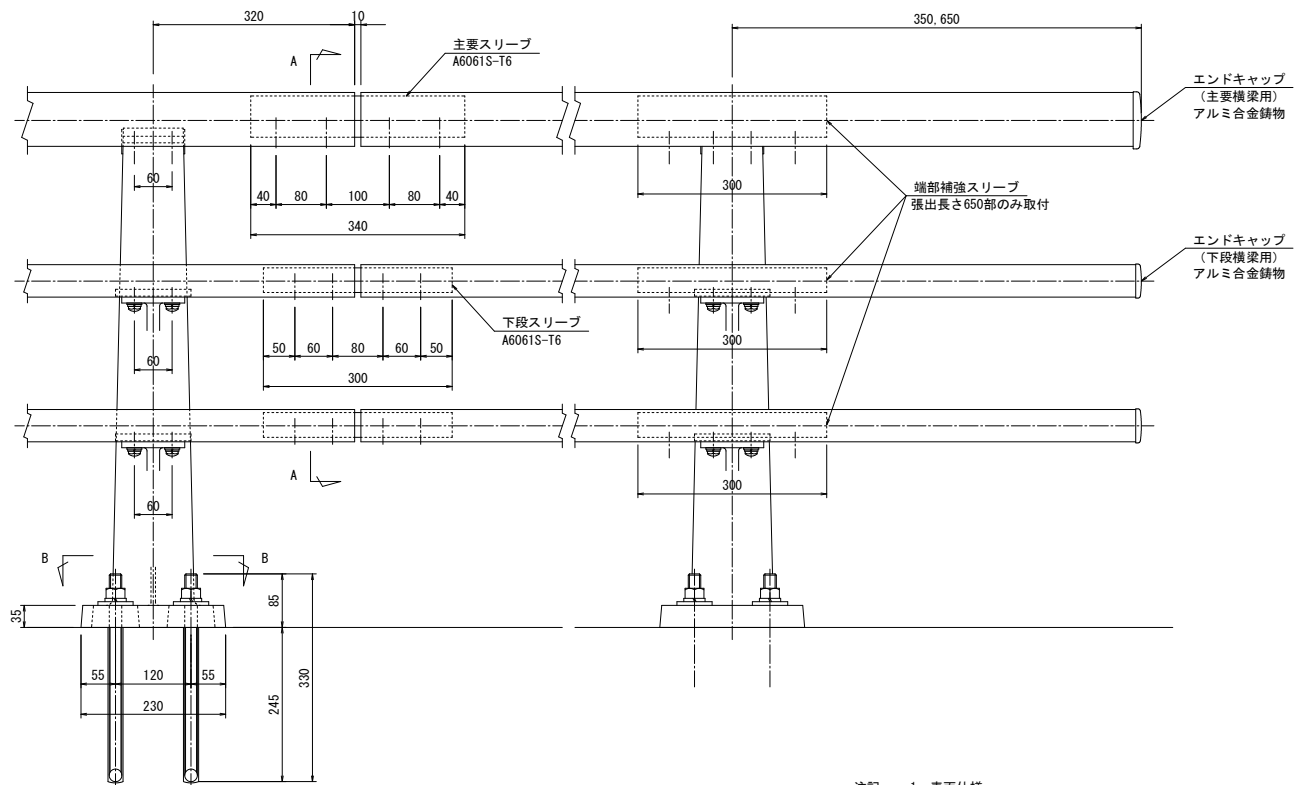
絶縁ブッシュ付

全ネジアンカーボルト
M20x270 SS 400
N1, φ56W1, SW1
溶融亜鉛メッキ処理
樹脂カプセルアンカー
(AP-20相当品)
絶縁ブッシュ付

全ネジアンカーボルト
M20x330 SCM 435
N1, φ56W1, SW1
溶融亜鉛メッキ処理
樹脂カプセルアンカー
(AP-20L相当品)
絶縁ブッシュ付

アンカーセンター

端 部



甲丸ボルト
M16x35
A2-70 SUS
W1, SW1

M12x22 (六角)
A2-70 SUS
W1, SW1

Technical drawing of the front view of a rectangular metal plate. The drawing includes the following dimensions:

- Overall width: 230
- Overall height: 280
- Hole diameter: 20
- Hole center-to-center distance: 120
- Hole offset from top edge: 70
- Hole offset from bottom edge: 45
- Hole offset from side edge: 55

A label "車道側" (Road side) is located at the bottom center of the drawing.

六角ナット M20
 前部ナット材質: S45C (H)
 後部ナット材質: 強度区分4以上
 溶融亜鉛メッキ処理

M20用スプリングワッシャー
 溶融亜鉛メッキ処理

特寸ワッシャー
 外径56x内径23x高さ6
 S45C (H)
 溶融亜鉛メッキ処理

絶縁ブッシュ
 外径φ56

- 注記 1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を降着着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護柵の支柱は、レール用を示し、0～2.5%欠配に使用とする。
5%用は2.5～7.5%欠配に使用とする。
4. ボルト・ビス類のSUS材は、塩害対策処理とする。
5. 絶縁ブッシュの色調は黒色とする。
コンクリート強度 $\sigma_{ok}=21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上

(12M当たり)

部 番	名 称	寸 度	数 量	単 重	1本当	総重量	材 質	備 考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	6	2.179	8.69	52.1	A6061S-T6	100x50x3
3	支柱		6		12.19	73.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	6	2.093	0.63	3.8	A6061S-T6	
6	板ナット	120.0	12	0.986	0.12	1.4	A6061S-T6	
7	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
8	〃	M12x30	24		0.05	1.2	A2-50 SUS	W1, SW1
9	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
10	〃	M12x22	24		0.05	1.2	A2-70 SUS	W1, SW1
11	全ネジアンカーボルト	M20x330	12		0.87	10.4	SCM435	N1, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ1
12	〃	M20x270	12		0.75	9.0	SS400	N1, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ1
13	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		-	-		
14	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12		-	-		
					総重量	219.3	Kg/12M	
					M当り	18.3	Kg/M (端部は除く)	

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
河川			
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
防護柵詳細図(4/5)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 11	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

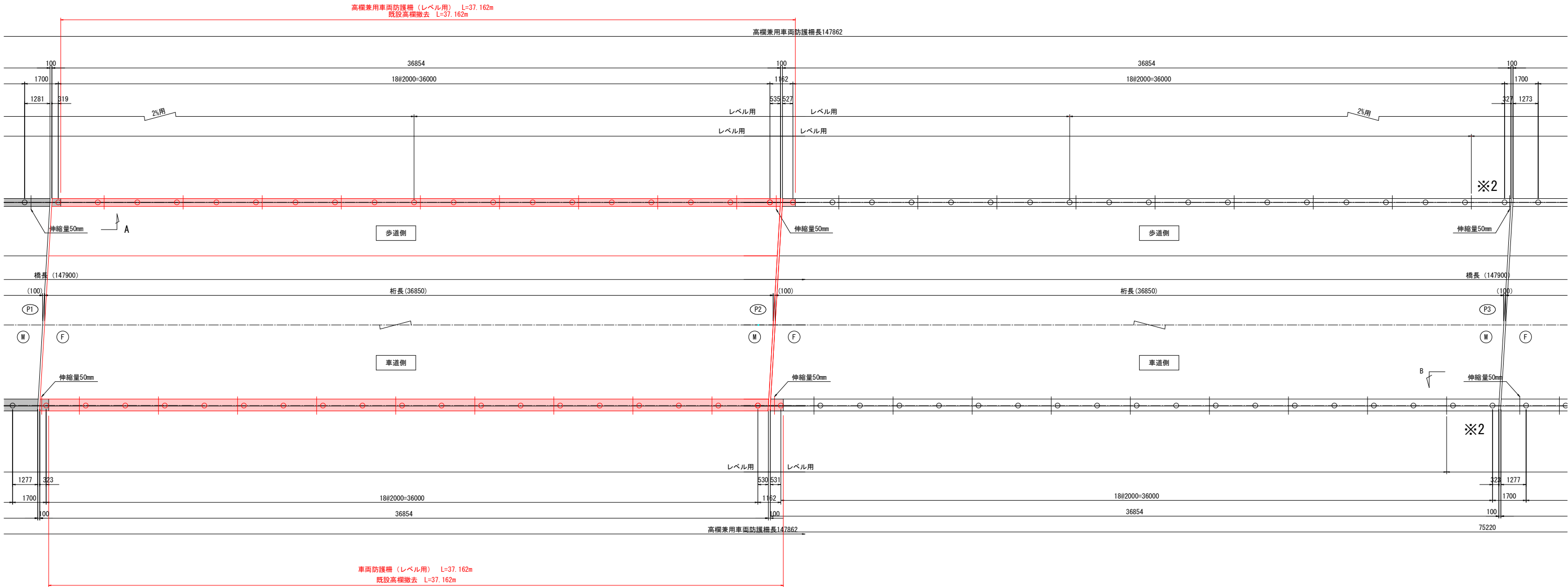
防護柵取替工図(4/5)

- 注記
- 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
 - 図中 ○ 印は支柱取付位置を示し、+ 印は横梁継手部を示す。
 - () 内寸法は水平長を示す。
 - < >内寸法は横梁寸法を示す。
 - 記入寸法確認の事。

車両用防護柵総延長	159M862
レベル用	74M862
5%用	85M000
高欄兼用車両防護柵総延長	153M862
レベル用	74M862
5%用	79M000

平 面 図 S=1/100

19
70



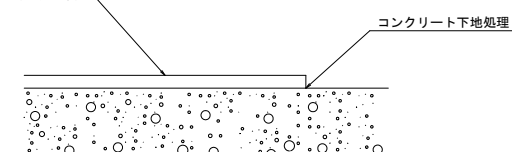
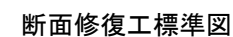
(朝日橋)

平面图 S=1:200

平面图 S=1:200



S=1 : 50

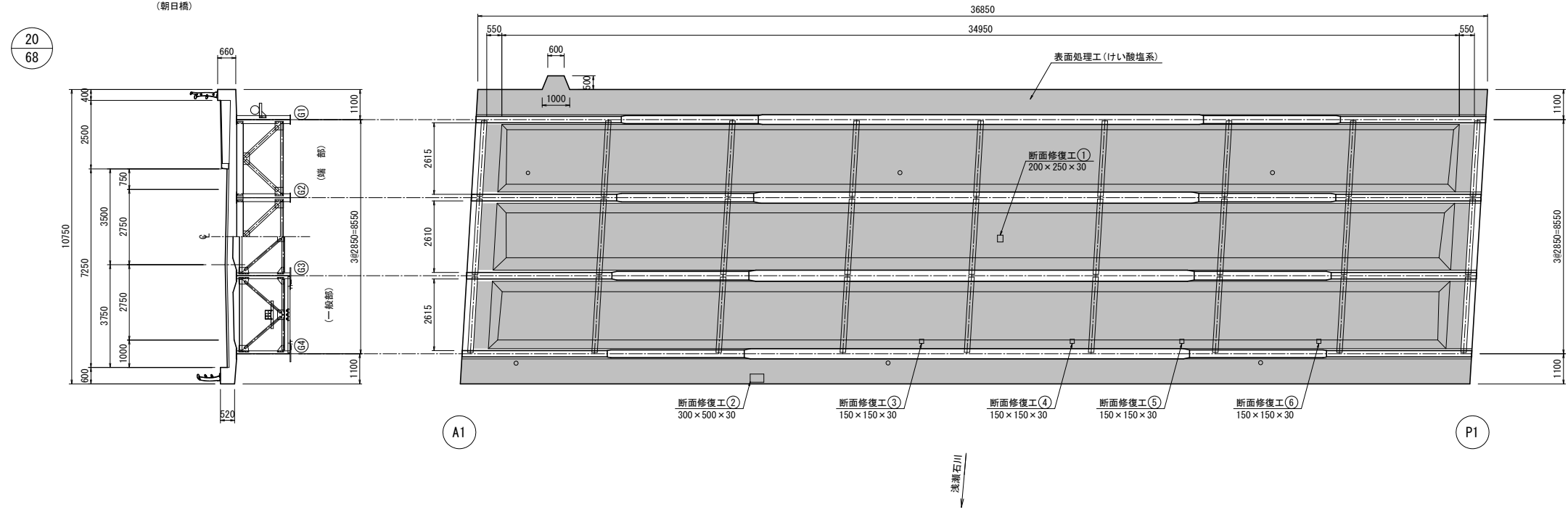


令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名 河川		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
床版補修工図(1/2)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 13	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

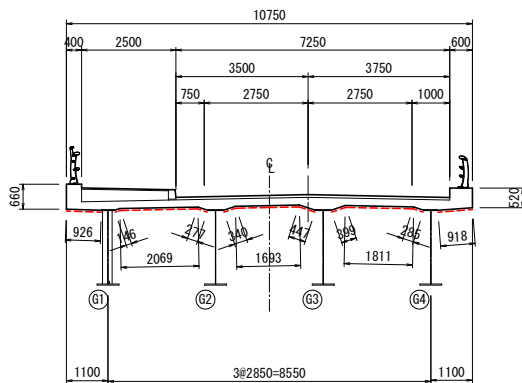
- 【凡例】
- 表面処理工
- ▨ 断面修復工

床版補修工図(1/2)

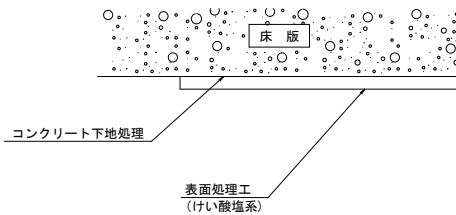
第1径間平面図 S=1:100



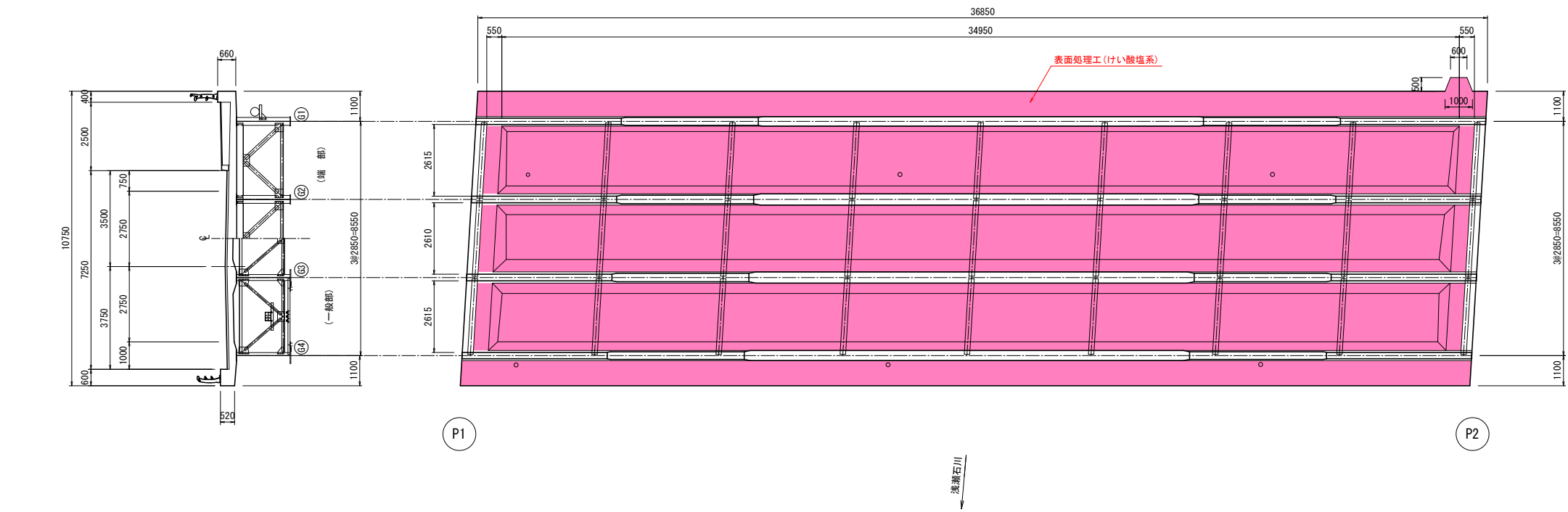
断面図 S=1:100



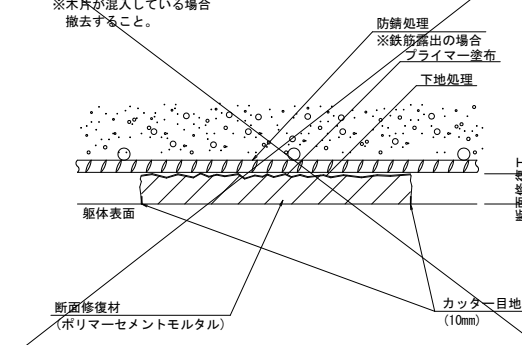
表面処理工詳細図



第2径間平面図 S=1:100



断面修復工標準図



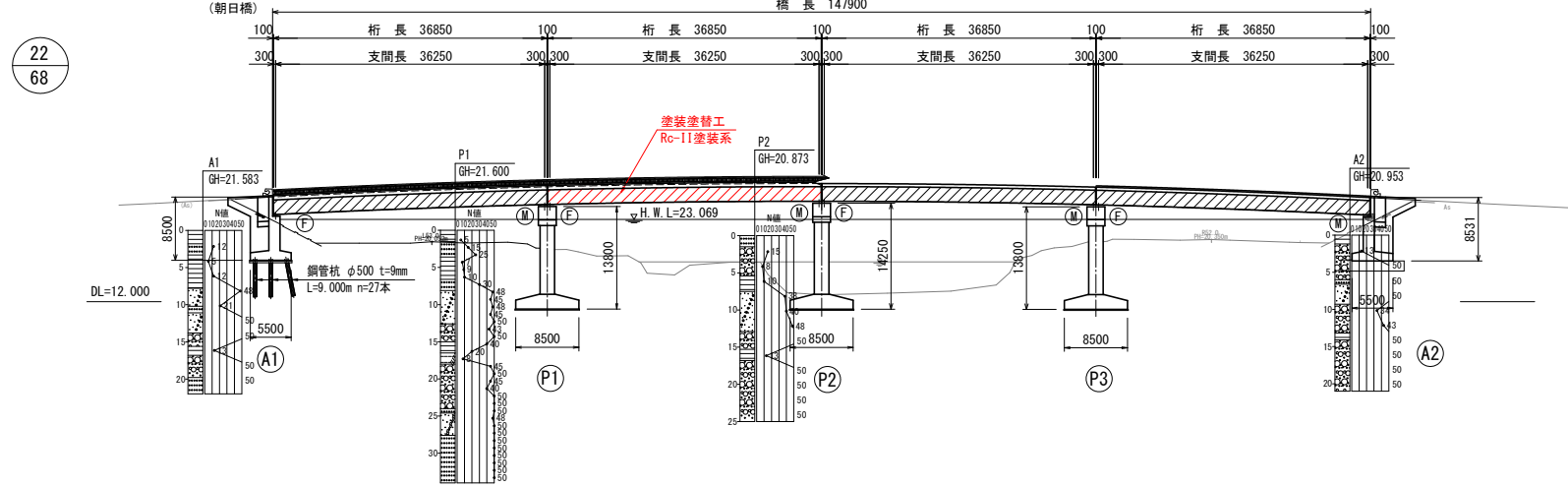
特記事項

- 図中、詳細寸法は現地計測の上決定すること。
- コンクリート下地処理は十分行い、断面欠損が生じた場合は、断面修復を行うこと。

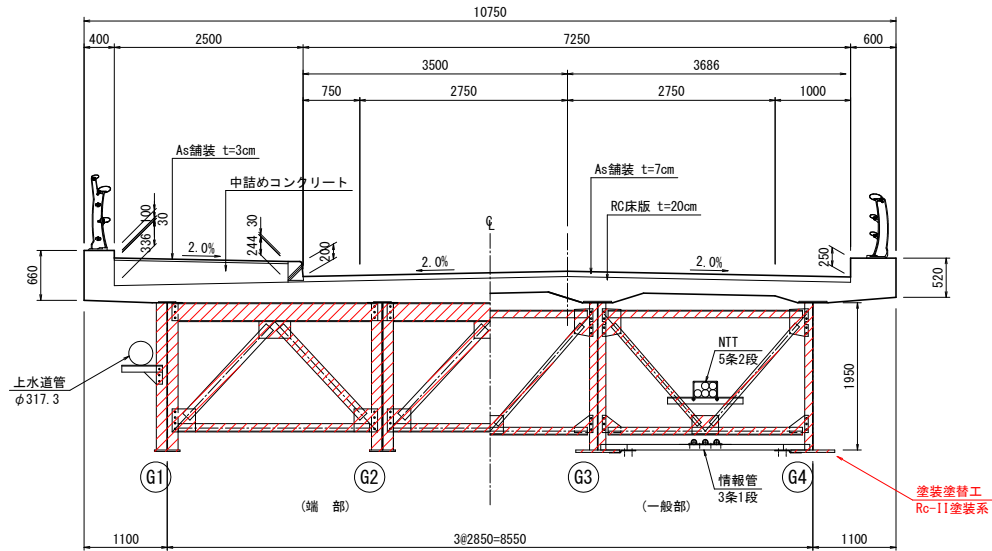
令和 8 年度 橋梁補修 工事		
工事番号	メンテ 第 765 号	
路線 河川 名	常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所	南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
塗装塗替工図(1/7)	縮尺	図示
図面番号	25	葉中 14
中南県土整備事務所		
青 森 県		

塗装塗替工図(1/7)

側面図 S=1:500

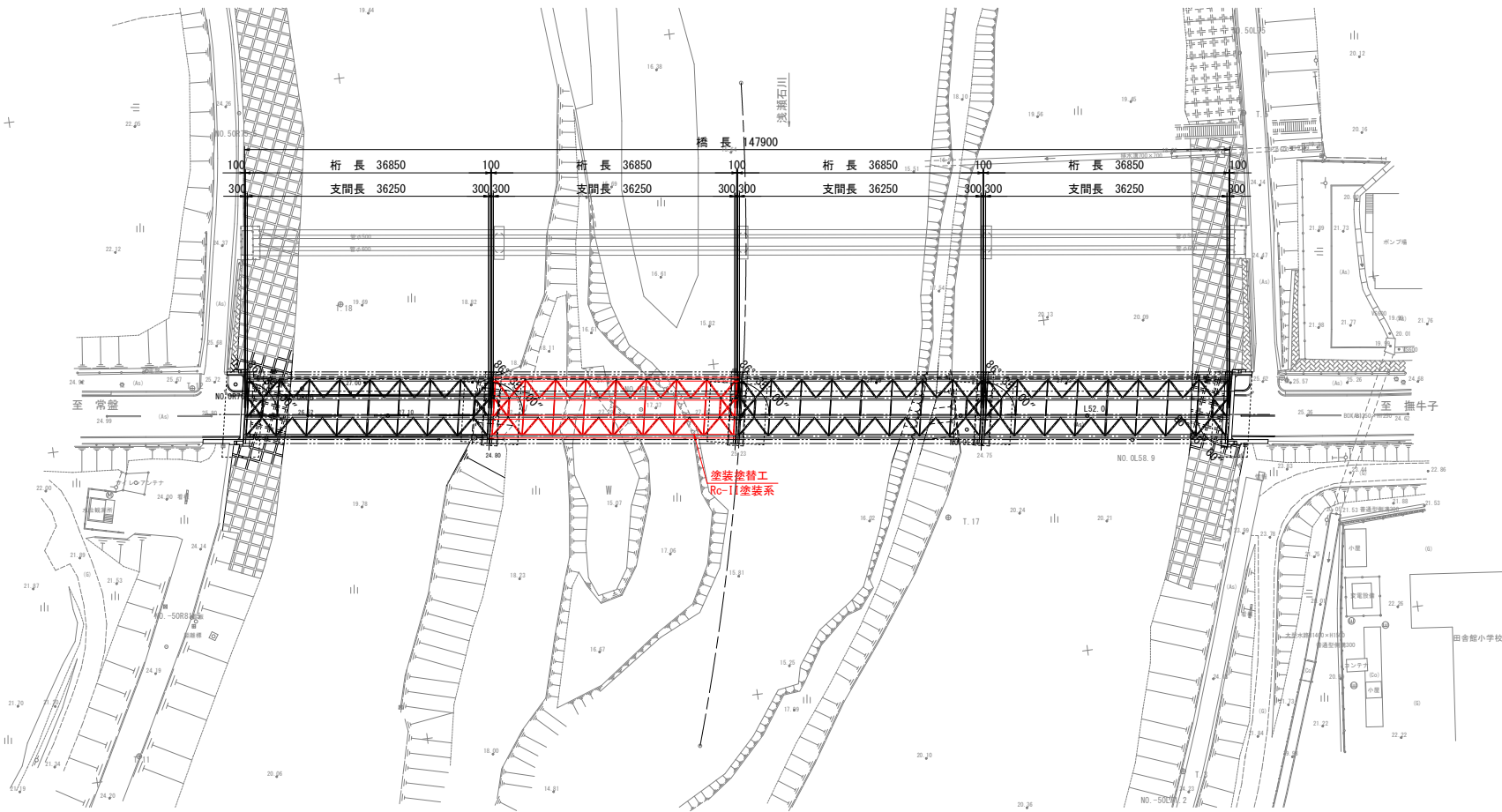


断面図 S=1:50



浅瀬石川

平面図 S=1:500

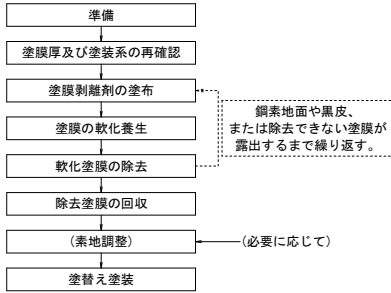


橋体工塗装仕様

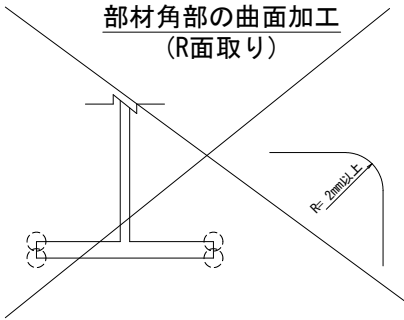
Rc-II 塗装系(はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	塗膜剝離剤(湿式)+3種ケレン	※1	※3
防食下地	有機ジンクリッチペイント	※2	※3
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	600	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	200	1日~10日
上 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	1日~10日

施工フロー



部材角部の曲面加工 (R面取り)



※1:さびの除去は、現況さび面積より3種ケレン相当とする。
※2:塗膜剝離剤(湿式)では旧塗膜を全面除去するため、有機ジンクリッチペイントの使用量は600g/m2とする。
※3:素地調整と下塗の間隔について規定はないが、塗膜剝離剤(湿式)を塗布後、清掃を行い、速やかに下塗を行うこと。

特記事項

1. 既設塗膜に鉛が含まれていることから塗膜除去の際には、【青森県の対策方針】に準拠し、塗膜剝離剤(湿式)を基本とする。
2. 橋体工塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)に準拠し表のとおりとする。
3. 塗膜剝離剤塗布前に、塗布面の清掃・水洗いを行うこと。
4. 塗装要領書、製品データシートの施工方法に従い施工を行うこと。
5. 上塗り以外は、低温施工の場合冬季用グレードを使用すること。
6. 既設塗膜はc-1塗装系(H22年度塗替え)である。

■既設塗膜記録

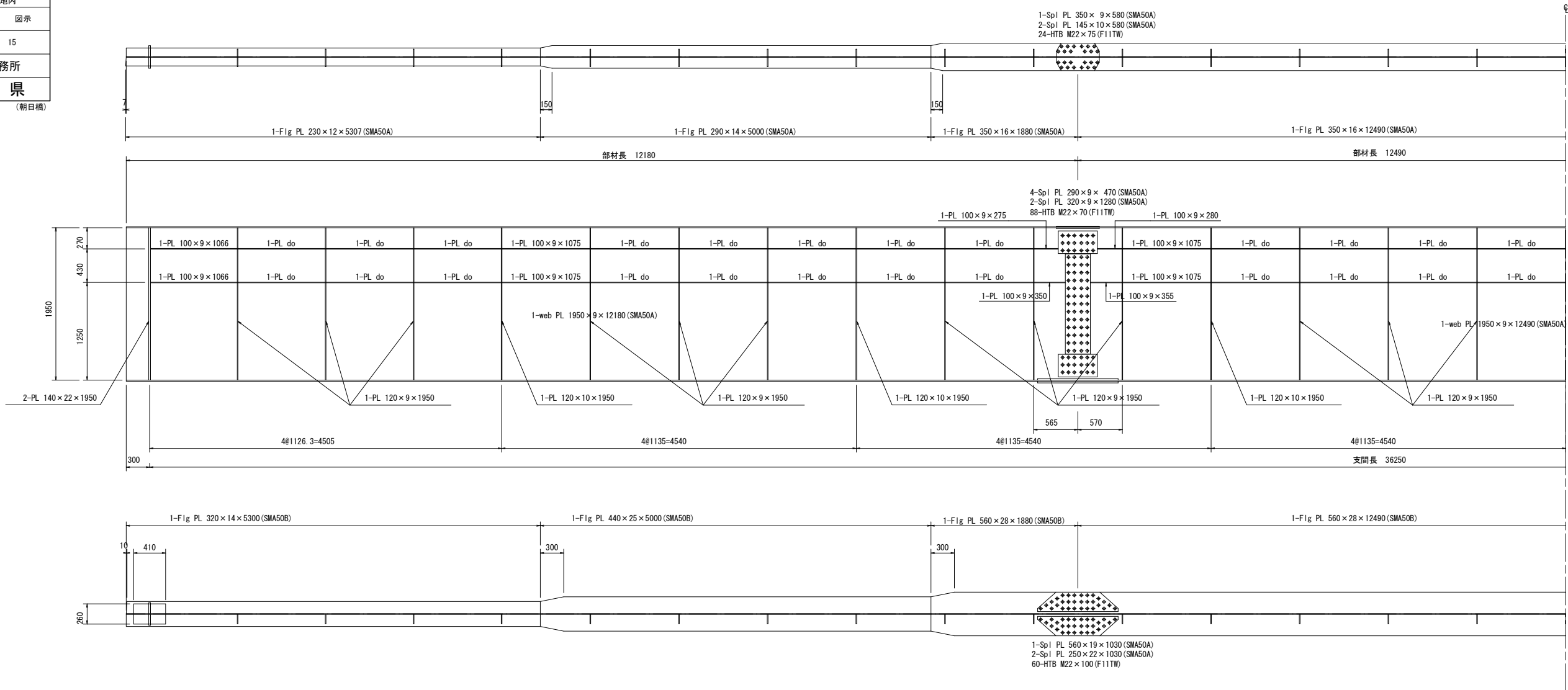
対象区間	A1~P2	P2~A2
	2010.3	2010.8
	c-1系	
下塗り	有機ジンクリッチペイント	
下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗(2回)	
中塗り	ポリウレタン樹脂塗料	
上塗り	ポリウレタン樹脂塗料	

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
河川			
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
塗装塗替工図(2/7)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 15	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

23
68

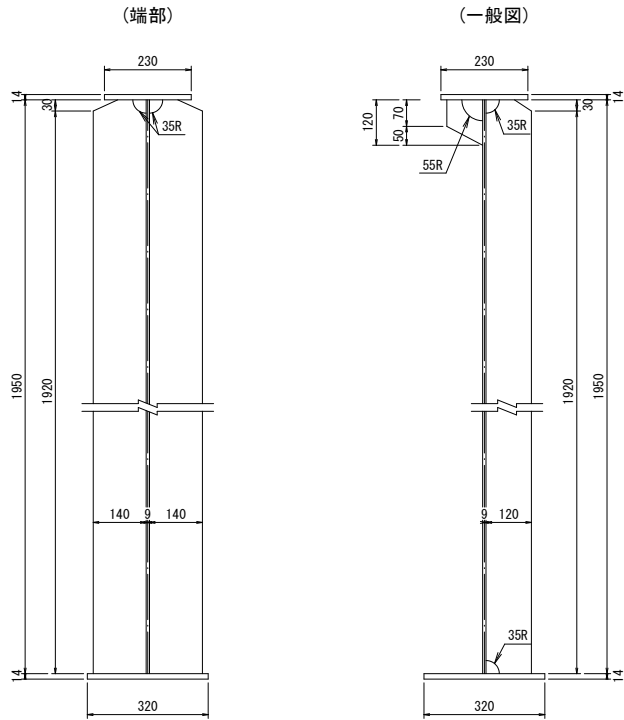
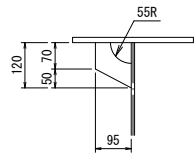
塗装塗替工図(2/7)

平面図(G1) S=1:30

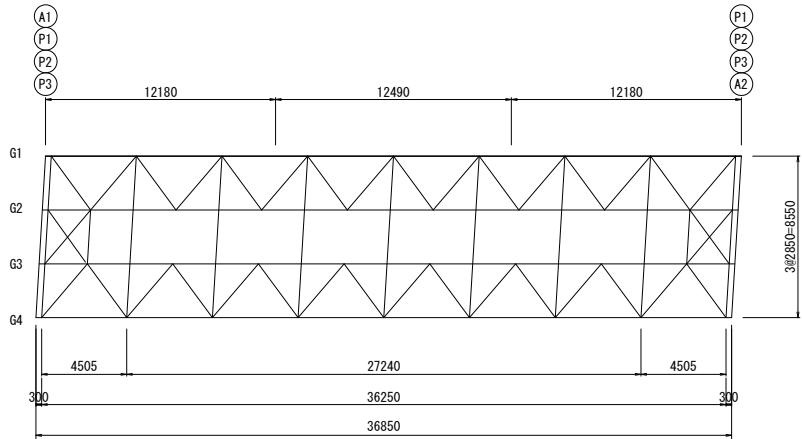


垂直補剛材詳細図 S=1:10

足場用補助材詳細図 S=1:10



配置図 S=1:200

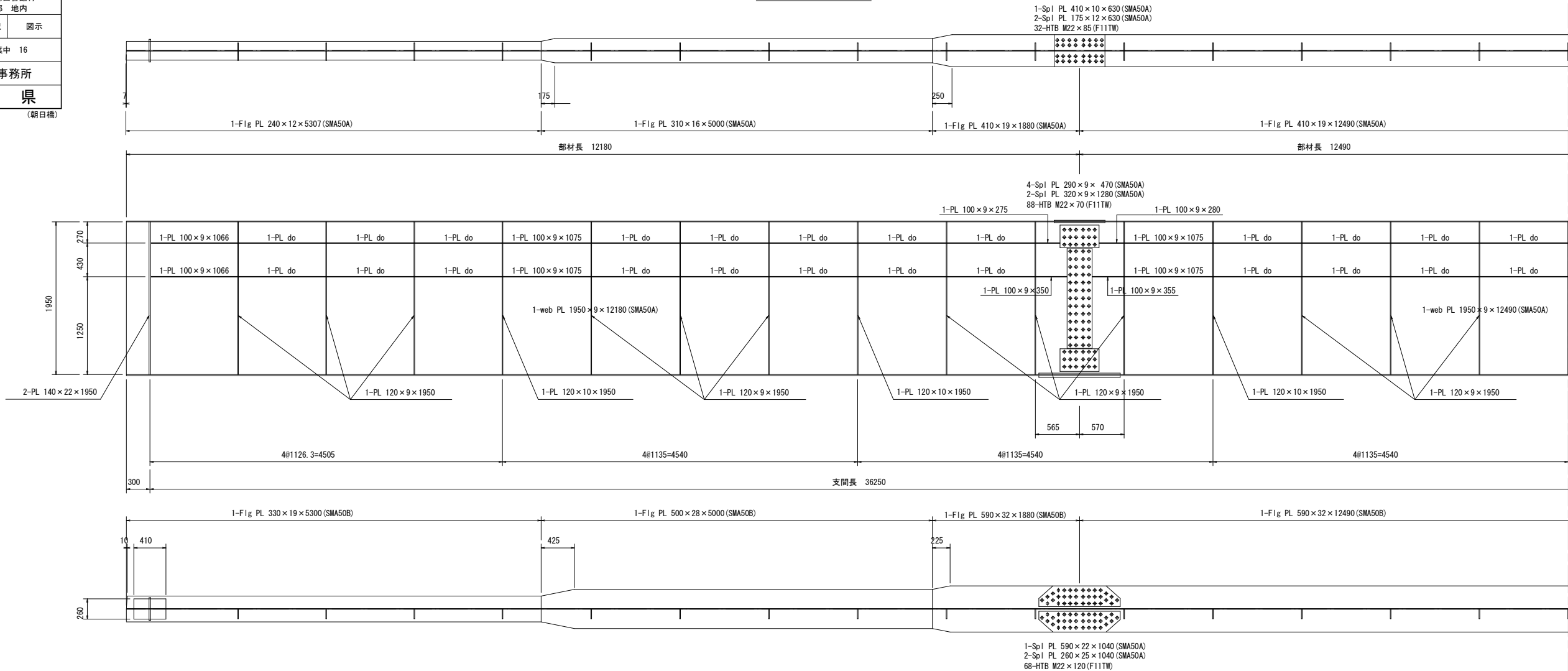


令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 河川		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
塗装塗替工図(3/7)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 16	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

24
68

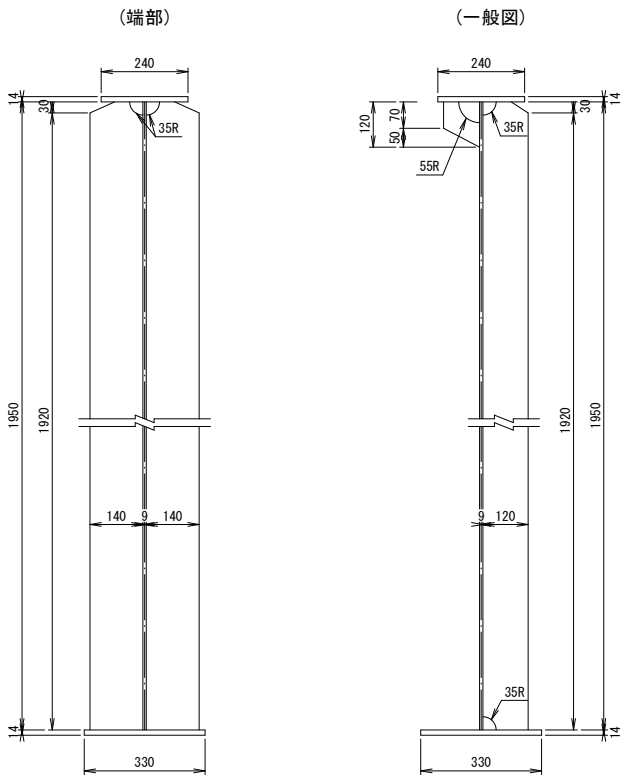
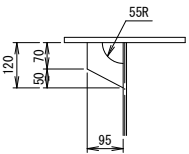
塗装塗替工図(3/7)

平面図(G2・G3) S=1:30

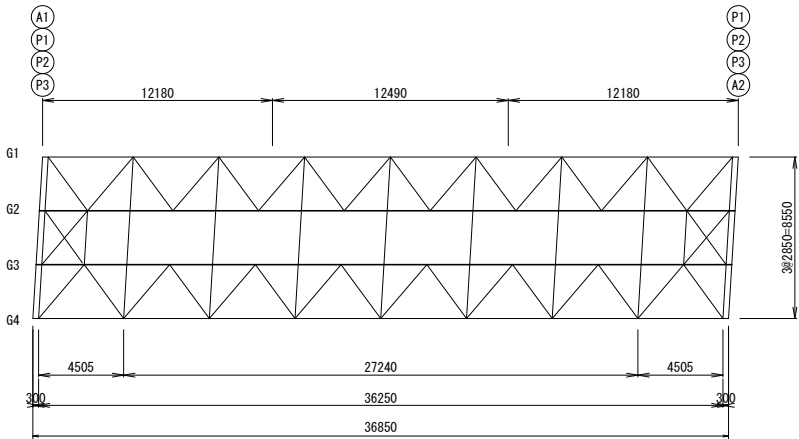


垂直補剛材詳細図 S=1:10

足場用補助材詳細図 S=1:10



配置図 S=1:200



塗装仕様	2種
素地調整	2種
下 塗	有機ジンクリッチペイント (300g/m2)
下 塗	炭性エポキシ樹脂塗料下塗 (240g/m2)
下 塗	炭性エポキシ樹脂塗料下塗 (240g/m2)
中 塗	ポリウレタン樹脂塗料用中塗 (140g/m2)
上 塗	ポリウレタン樹脂塗料上塗 (120g/m2)

令和 8 年度 橋梁補修 工事		
工事番号	メンテ 第 765 号	
路線名	常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所	南津軽郡田舎館村大字川部 地内	
塗装塗替工図(5/7)	縮尺	図示
図面番号	25 葉中 18	
中南県土整備事務所		
青 森 県		

(朝日橋)

分配横桁 S=1:20

⑤

端対傾構 S=1:20

① ⑨

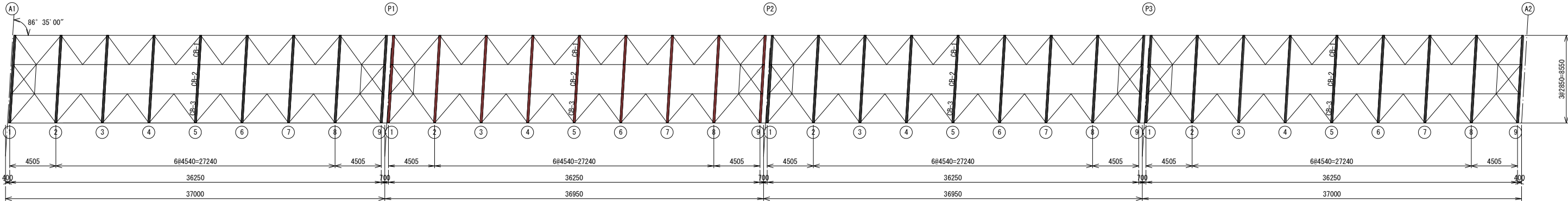
中間対傾構 S=1:20

② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧

配置図

S=1:200

：施工箇所



(朝日橋)

所

(朝日橋)

· 施工队

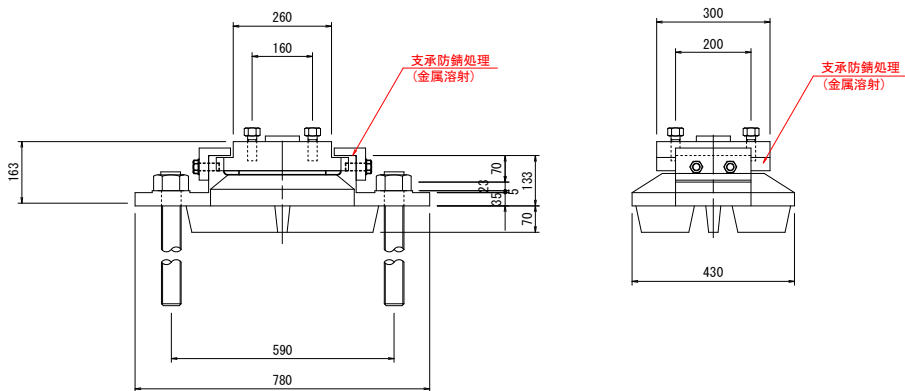
令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 河川 名		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
支承補修工図		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 21	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

支承補修工図 S=1:10

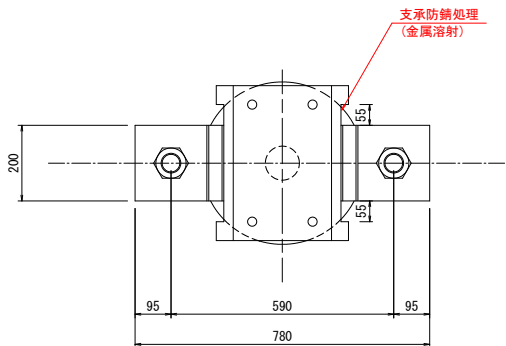
支承板支承
(Mov、R100tタイプ)

正 面 図

側 面 図



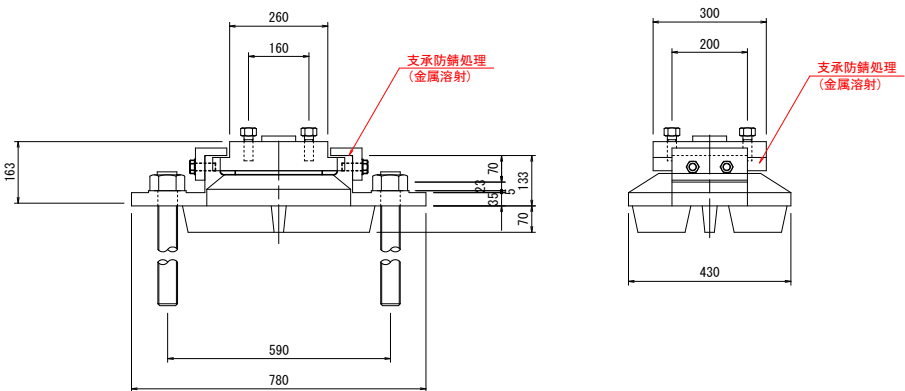
平 面 図



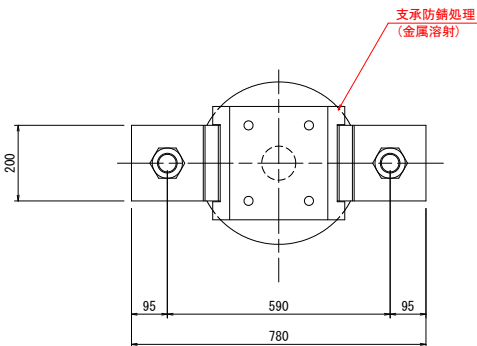
支承板支承
(Fix、R100tタイプ)

正 面 図

側 面 図



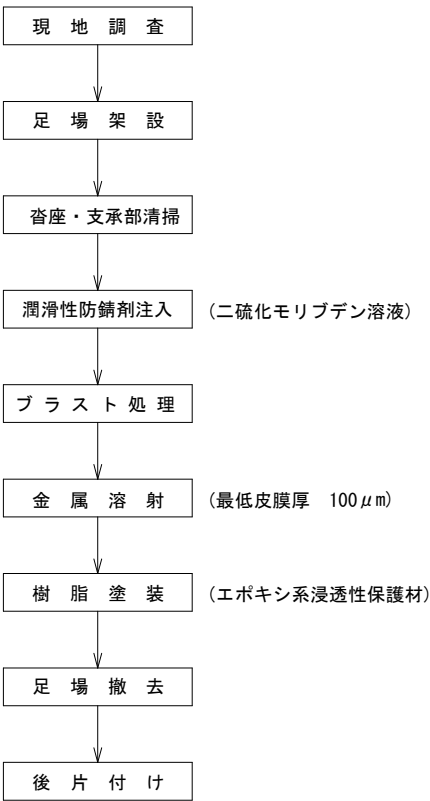
平 面 図



集 計 表

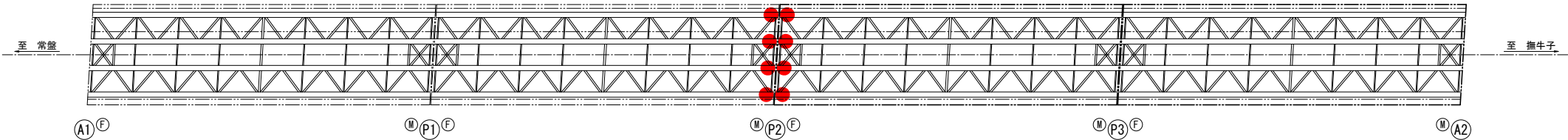
位置	タイプ	反力	基
A1	支承板支承	R 100tタイプ	4
P1	支承板支承	R 100tタイプ	8
P2	支承板支承	R 100tタイプ	8
P3	支承板支承	R 100tタイプ	8
A2	支承板支承	R 100tタイプ	4
合 計			32

支承防錆工施工フロー



位 置 図 S=1:300

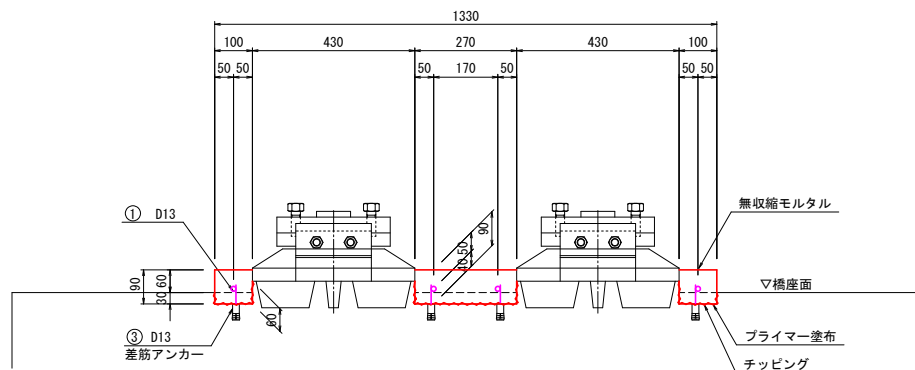
※ ● :施工箇所



(朝日橋)

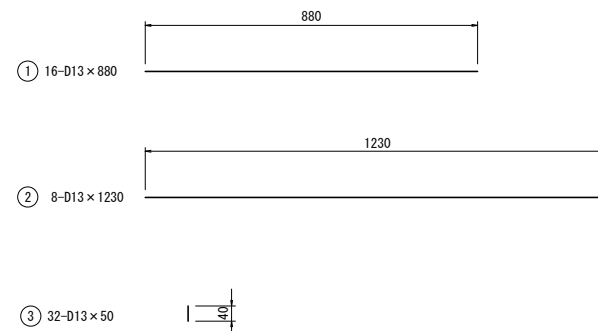
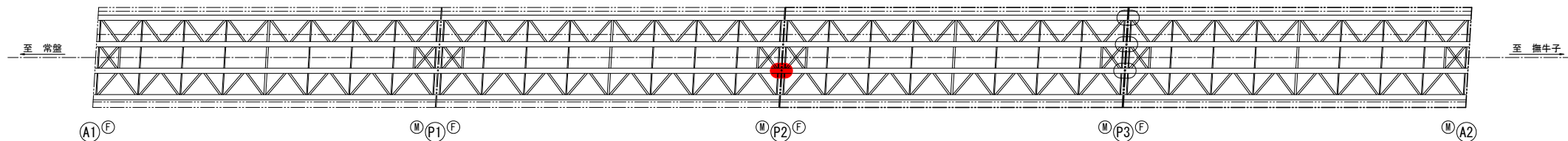
$$\frac{30}{68}$$

側 面 図



Technical drawing of a foundation plan for two columns. The drawing shows a rectangular area with a red hatched interior. Two circular column footings are positioned side-by-side. Dimensions are provided in millimeters: overall width 2400, overall height 980, footing diameter 1330, and various offsets. Labels include '① D13', '② D13', '③ D13', '差筋アンカー' (stitching reinforcement anchor), '無収縮モルタル A=0.867m²' (non-shrinkable mortar), and '既設支承' (existing support).

※ ●: 施工箇所



ねじ処理

	本 数			
	G1桁部	G2桁部	G3桁部	G4桁部
P2橋脚	-	-	8	-
P3橋脚	8	8	8	-
合 計				32 本

(1橋当たり)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当たりの重量	重量	摘要
①	D13	880	16 (4)	0.995	0.88	14 (3.52)	—
②	D13	1230	8 (2)	0.995	1.22	10 (2.44)	—
③	D13	50	32 (8)	0.995	0.05	2 (0.10)	!
					D13 (SD345)	26 (6.06)	kg
					総重量	26 (6.06)	kg

※ () 数值 P2分

特記事項

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. 支承本体下部の既設モルタル部が脆弱化している場合は、脆弱部を除去し無収縮モルタルを打設すること。
3. 桁座に損傷(剝離、欠損)が見られる場合は、損傷部を除去しポリマーセメントモルタルで補修を行うこと。

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 名		常盤新山線(朝日橋)	
河川			
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
P2橋脚補修工図		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 23	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

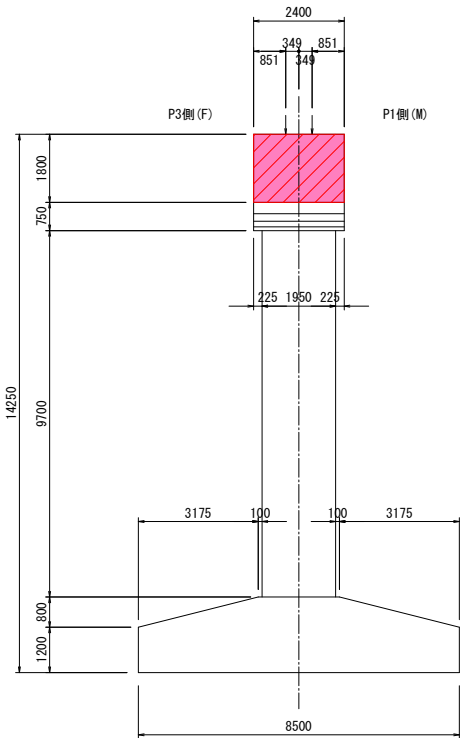
【凡例】

表面処理工

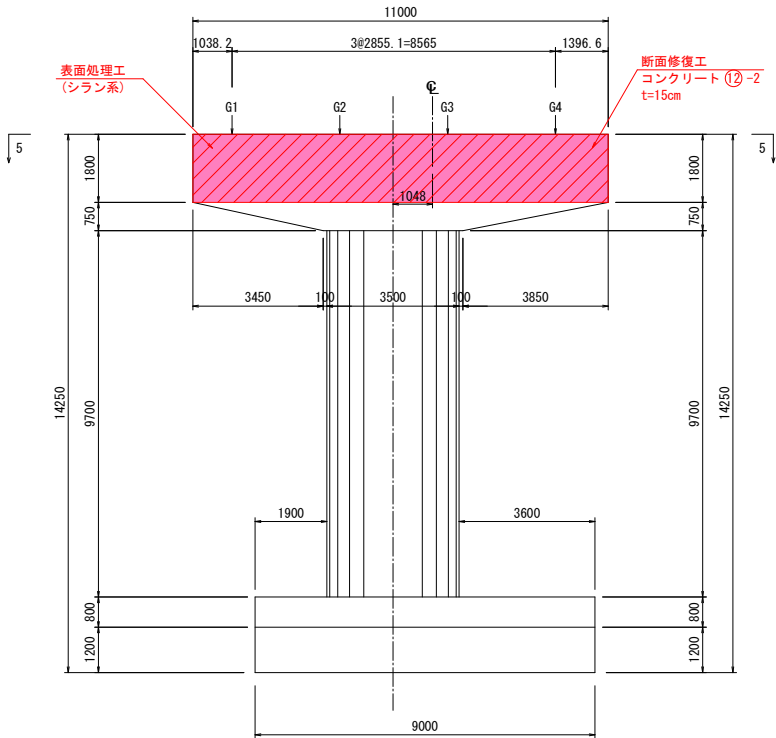
断面修復工

上 流 側
(3 - 3)

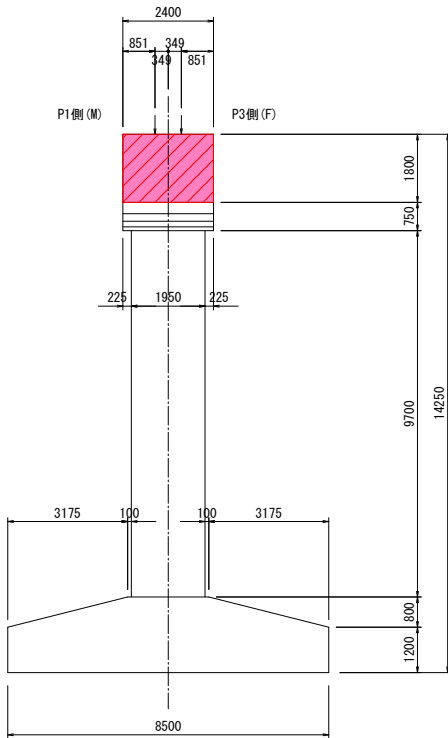
33
68



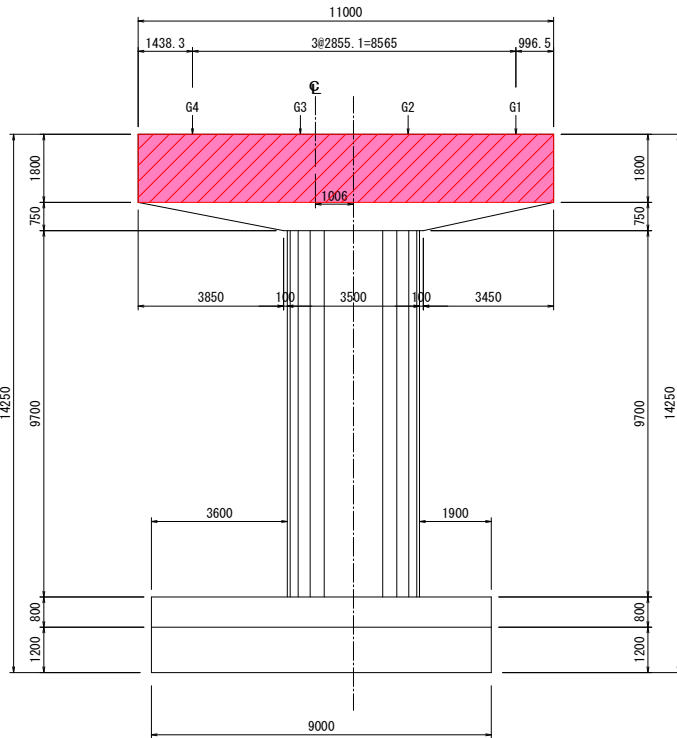
正 面 図
(1 - 1)



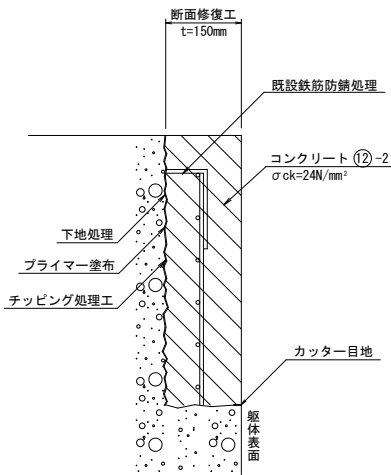
下 流 側
(4 - 4)



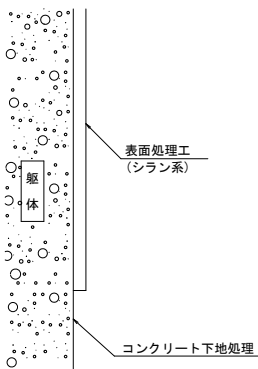
正 面 図
(2 - 2)



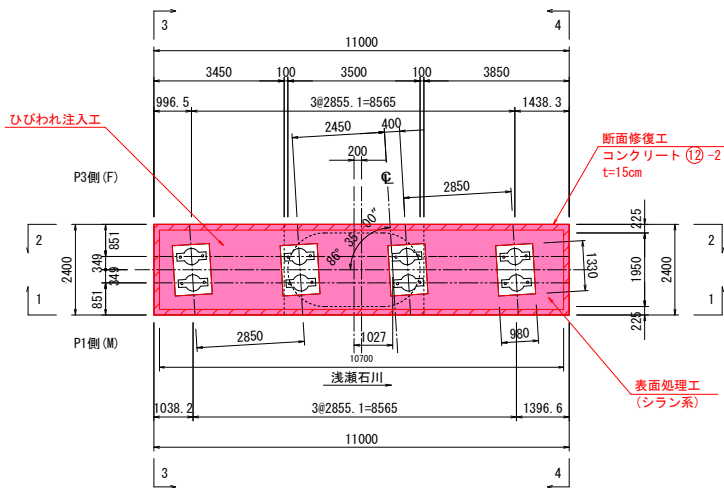
断面修復詳細図



表面処理工詳細図

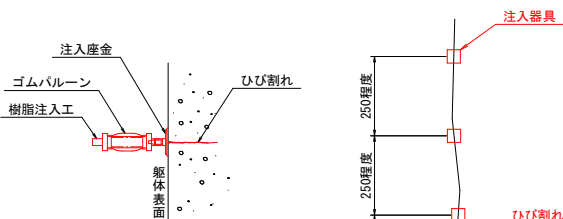


平 面 図
(5 - 5)

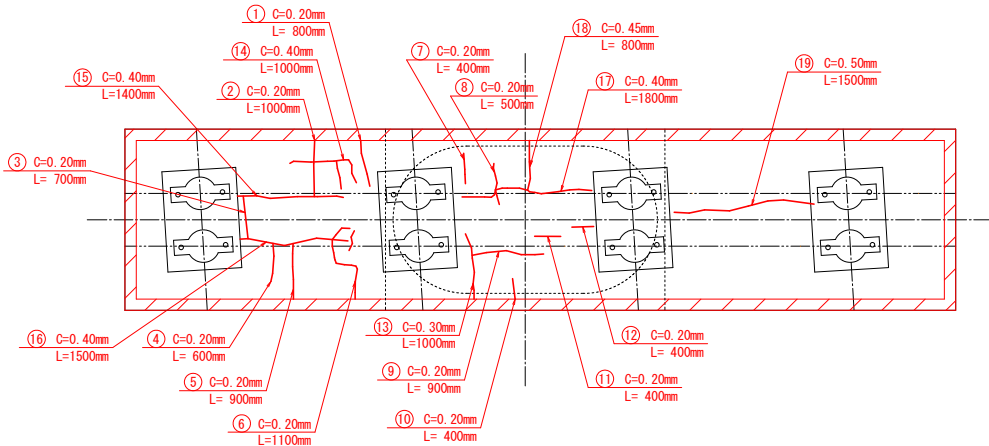


ひびわれ注入工詳細図

(低圧注入、ひび割れ幅0.2mm以上)



ひびわれ位置図



ひびわれ注入数量

【W=0.20mm】		
NO.	W (mm)	L (m)
1	0.20	0.80
2		1.00
3		0.70
4		0.60
5		0.90
6		1.10
7		0.40
8		0.50
9		0.90
10		0.40
11		0.40
12		0.40
計		L= 8.10 m

【W=0.30mm】		
NO.	W (mm)	L (m)
13	0.30	1.00
計		L= 1.00 m

【W=0.40mm】		
NO.	W (mm)	L (m)
14	0.40	1.00
15		1.40
16		1.50
17		1.80
計		L= 5.70 m

【W=0.45mm】		
NO.	W (mm)	L (m)
18	0.45	0.80
計		L= 0.80 m

【W=0.50mm】		
NO.	W (mm)	L (m)
19	0.50	1.50
計		L= 1.50 m

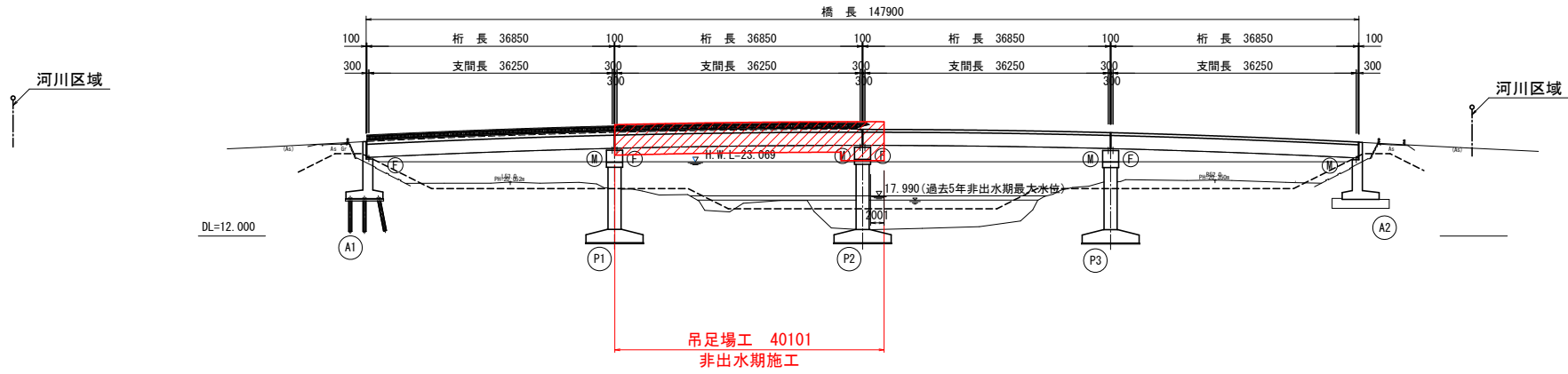
特記事項

- 図中、詳細寸法は現地計測の上決定すること。
- コンクリート下地処理は十分行い、断面欠損が生じた場合は、断面修復を行うこと。

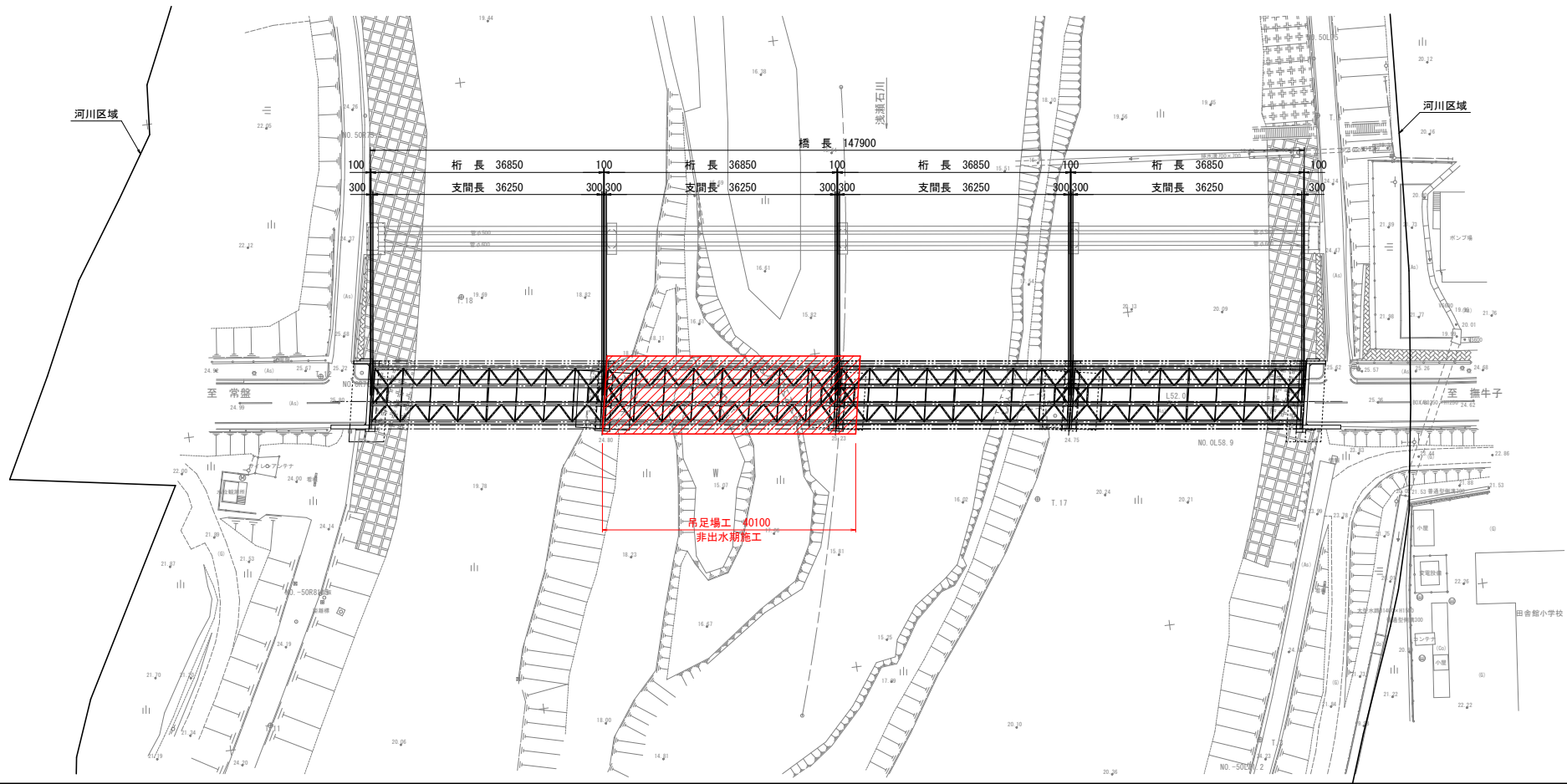
令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線名 河川		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
仮設吊足場参考図 (2/5)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 24	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

仮設吊足場参考図(2/5)
(2期施工)

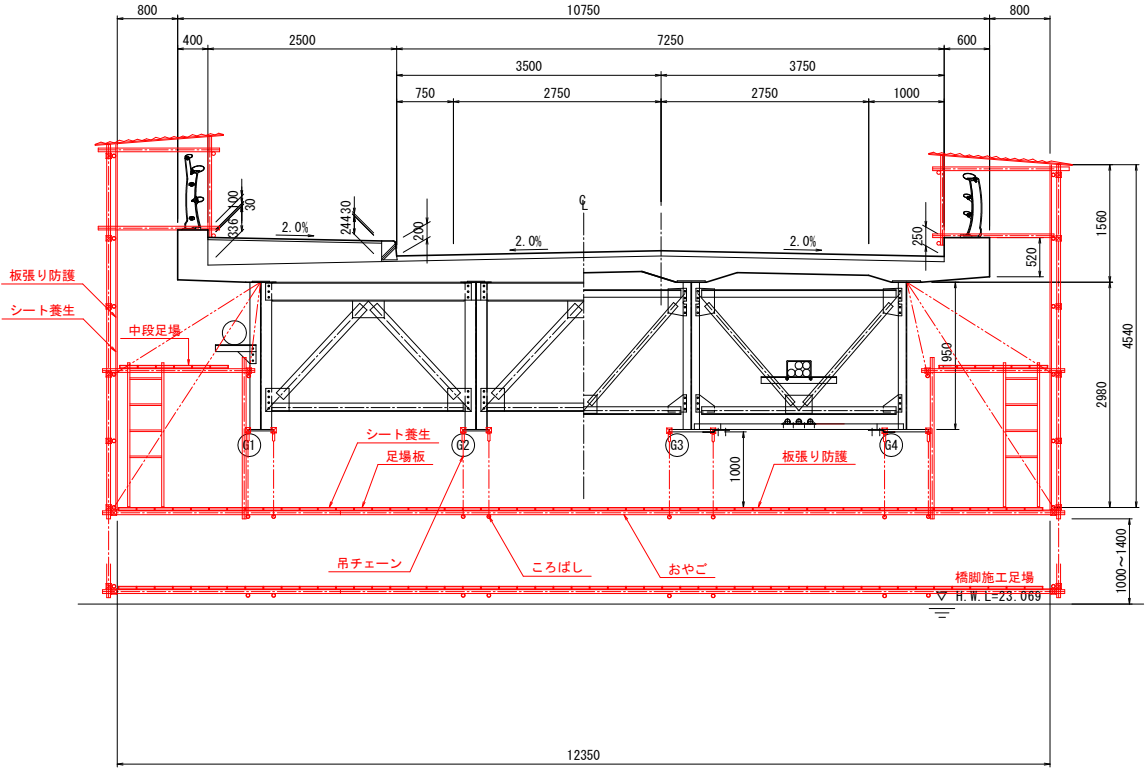
側面図 S=1:500



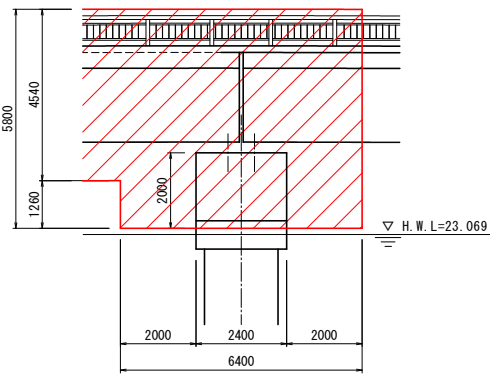
平面図 S=1:500



断面図 S=1:50



橋脚部詳細図 S=1:100



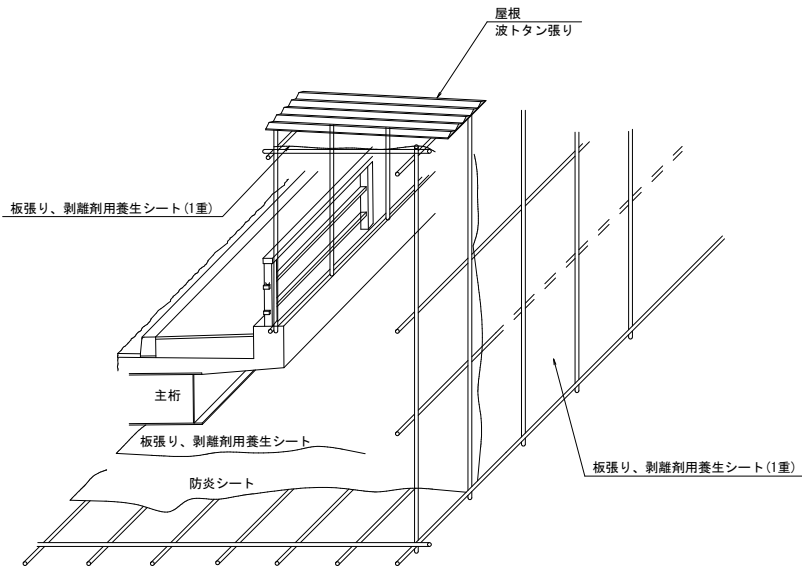
【2期施工】	
施工対象	第2径間
対策工種一覧	
地覆補修工	断面修復工、表面処理工
排水装置補修工	排水管取替工(損傷箇所のみ)
主桁補修工	塗装塗替工(Ro-1I塗装系(塗膜剥離剤使用))
床版補修工	断面修復工、表面処理工
支承補修工	支承防錆工(金属溶射)
番座モルタル補修工	番座モルタル打換え
下部工補修工	P2橋脚梁部：断面修復工、表面処理工
落橋防止装置	P2橋脚部：桁連結装置

令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号		メンテ 第 765 号	
路線 河川 名		常盤新山線(朝日橋)	
施工箇所		南津軽郡田舎館村 大字川部 地内	
仮設吊足場参考図 (5/5)		縮尺	図示
図面番号		25 葉中 25	
中南県土整備事務所			
青 森 県			

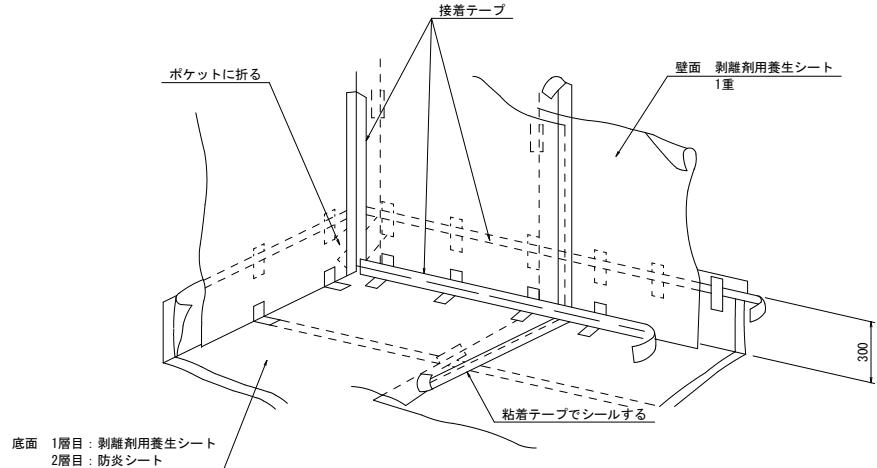
68
68

仮設吊足場参考図(5/5)

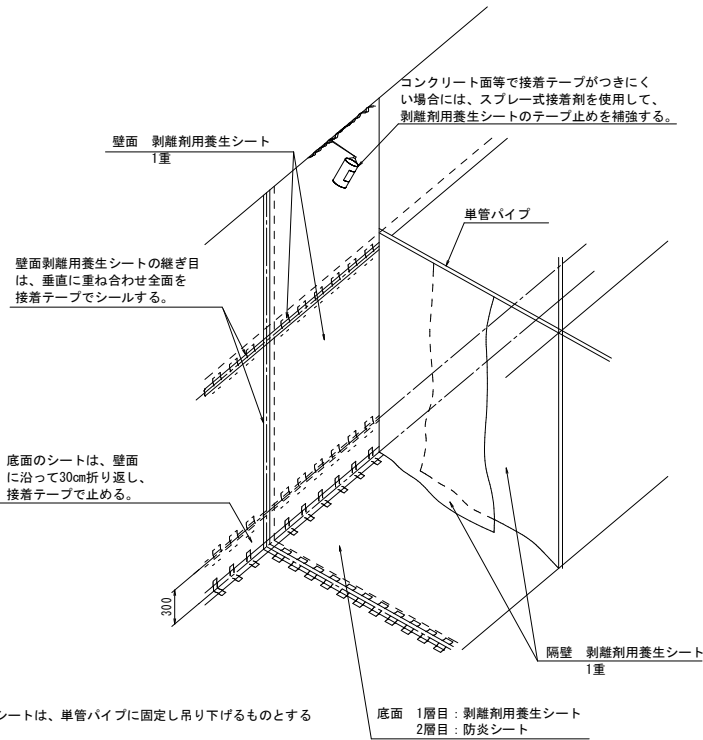
吊足場概要図



ビニルシート張り概要図



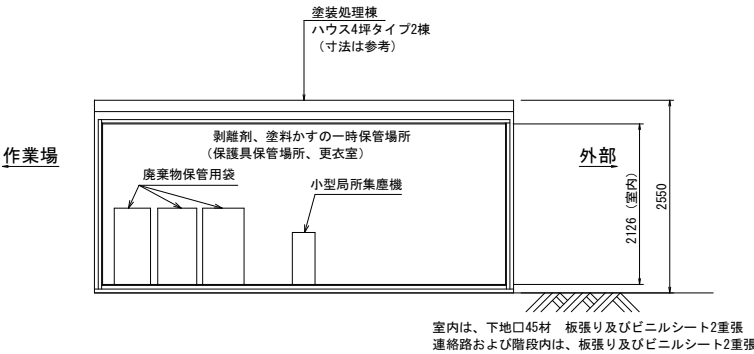
隔壁概要図



塗装処理棟構造図

S=1:50

断面図



平面図

